

10周年記念誌



亀岡市テニス協会

10周年記念誌発刊に際して

亀岡市テニス協会 会長 小川 博



史上最高の参加国を集め大成功に終わったソウルオリンピックや、続いて行われた京都国体は2連目初回という意義を踏まえながら数多くのドラマと感動のうちに無事終了し、本年は本当にスポーツの年でありました。

このような記念すべき年に、私たち亀岡市テニス協会は設立10周年を迎えたのであります。

ふりかえりますと、この10年間は夢のようであったという間に過ぎてしまった感じがいたします。その数年前まではテニスと言えば軟式庭球のようなもので、硬式はごく一部の大学・高校やクラブでプレーされている程度でありましたが、全国的なテニスブームの大きな流れの中で、私たち協会もよき指導者に導かれ誕生したのであります。

又、丁度その頃、亀岡市もスポーツ振興を重点施策として特に施設建設に取り組んでおられ、亀岡運動公園にテニスコート9面が完成し、テニス人口の増大に対応できるようになり、昭和55年には市制施行25周年記念事業として春日坂コート

全天候夜間照明付コートに改修されるなど活動の場の確保にご努力いただき、協会の発展にも大きな力となったのであります。

このようによき指導者とテニスコートを得た私たちは、組織面においても(財)亀岡市体育協会傘下の下に、京都府テニス協会にも加盟し、先輩の稲本先生等のご助言をいただきながら今日を迎えることができたのであります。

発足当時、まだプレーする親につれられコートに来ていた子どもたちも今では京都府のトップクラスにまで成長した若者も現われ、年とともに競技力もすばらしく向上し、時の流れを感じますとともに協会の大きく飛躍している姿でもあるとうれしく思っています。

最後になりましたが、京都国体においてテニスも総合優勝、成年女子の優勝等すばらしい成果をあげてくれました。そして、10周年記念事業には、ご多忙の中をこの選手の皆さんをお迎えすることができ花をそえていただきましたことに感謝し、又、日頃の亀岡市や関係各位のご支援に対し厚く御礼申し上げますとともに、今後ともどうかよろしくお願い申し上げます。



63年会長杯の表彰式

意義ある発足10周年に熱い拍手

亀岡市長 谷 口 義 久



1988年はソウルオリンピック。そして2回目の第43回京都国体という意義深い年に発足10周年を迎えられました。亀岡市テニス協会と関係各位に心からお祝

い申し上げます。

テニスの歴史は古く1873年、英国ではじまり、今日まで数々の世界大会、記録に残る名勝負があります。ソウルオリンピックでは64年ぶりに正式種目に復活しただけに、テニス愛好者ならずともファンにとりまして大変喜ばしい限りです。

日本でのテニスは1878年に文部省が米国から取

り入れ、学校体育を通して今日の普及を見たのであります。亀岡市テニス協会は亀岡テニス界にありまして発展的に発足され10年を経たいま、会員470人に及びます成長ぶりに熱い拍手をおくります。

スポーツの振興は、生涯学習と深い係りをもっており、生涯学習都市にふさわしい施設の整備充実につとめております。テニス人口は、まだまだ増えるものと予想されます。とりわけ全天候型コートの整備に力を入れる所存です。緑園の中のコートでプレーされます健康な姿を描きますとき心がなごみます。

ここに発足10周年を契機として亀岡市テニス協会の一層の発展を祈念申し上げます。

ごあいさつ



京都国体開催の意義深い年に亀岡市テニス協会発足10周年をお迎えになりましたことを心よりお祝い申し上げます。

近年、社会は著しく変化し、生活の多様化・余暇の増大と相まって、スポーツ活動への要求が高まってきております。

亀岡市におきましては、口丹波の中核都市として人口が増加する中で着実に都市化が進み、街づくりと市民のふれあいを大切にまいったところ

です。

こうした中で、市民の自主的・自発的なスポー

亀岡市教育委員会

教育長 桂 誠

ツ・文化活動が活発化してきましたが、組織的な指導力によるところが大きく、とりわけ市民テニスは大変な活況が見受けられることは、関係各位のご熱意あるご尽力の賜と深く敬意を表する次第であります。尚、亀岡市は本年「生涯学習都市」宣言を行いました。このことは、生きる喜びと明るく豊かなまちに住む喜びの持てる亀岡をめざし、国体を契機として、関係者の努力の基に培われた気運を引き継ぎ、今後一層の市民スポーツ振興に努めてまいりたく存じます。各位の一層のご協力をお願い申し上げますとともに、貴会の益々のご発展を祈念いたしましてごあいさつといたします。

10周年を祝って

財団法人 亀岡市体育協会

会長 大 槻 稔 司



協会発足10周年、誠におめでとうございます。

さまざまな記念行事や記念誌の発行までされるなど、大きく発展されました協会の皆様

に心から敬意を表するものであります。

確かに、テニスブームといわれ、条件的には恵まれた面もあります。しかし、「見るテニス」「するテニス」更には「着るテニス」といわれるように、競技オンリーの人ばかりでなくレジャースポーツとしてのテニスもまた盛んであり、このプレーヤーの多様化に対処しながらの協会運営には大

変な困難があったものと拝察しております。それを乗り越えての10年、今日の御発展にあらためてお祝いを申し上げます。

平素は亀岡市体育協会の中核的な団体として、御協力をいただいているわけですが、ポスト国体、我々体育協会は、Sports for all のスローガンのもと、巾広く、根強い活動を続けていかねばなりません。生涯学習都市の「体協」として、生涯スポーツが大きな課題となって参ります。その意味で年代に応じたプレイの出来るテニスは大変意義が大きいと思います。

今後も、我々体育協会の牽引的な存在となっただけの事を期待し、ますますの御発展をお祈り致しまして、お祝いの御挨拶と致します。

ご 祝 辞

京都府テニス協会会長 植 木 光 教



亀岡市テニス協会が発足10周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

日頃はテニスの普及・選手の育成に格段のご努力を賜り、厚くお

礼申し上げます。お陰をもちまして京都テニス界は数多くの名選手を輩出してまいりました。

プロでは竹内映二・伊藤和子・木戸脇真也、アマでは馬場宏之・赤尾文雄等々の選手が育っております。

本年は、又第43回国民体育大会の年でもあり「新しい歴史に向かって走ろう」のスローガンのもと

二巡目トップとして、京都で開催できましたことは、我々テニス関係者にとりまして大変意義深く、この上ない喜びであります。

10周年を迎えられました貴協会が、この国体を契機に、小川博会長を中心にあたらなる歴史に向かって進まれますよう期待しております。

京都府テニス協会も心新たに頑張ってお参りたいと思います。貴協会の変わらぬご協力をお願いし、益々のご発展を祈念申し上げ、お祝いのことばと致します。

目 次

1. あいさつ	亀岡市テニス協会会長	小川 博	
	亀岡市長	谷口 義久	
	亀岡市教育長	桂 誠一	
	(財)亀岡市体育協会会長	大槻 秧司	
	京都府テニス協会会長	植木 光教	
2. 10年のあゆみ			6
3. クラブの移り変わり			8
4. 協会組織図			9
5. 63年度協会役員名簿・歴代役員の紹介			10
6. テニス協会表彰者の紹介			11
7. 加盟クラブ紹介			
亀岡テニスクラブ			12
見晴テニスクラブ			14
サンデーテニスクラブ			16
ニチコンテニスクラブ			18
京都学園大学硬式庭球部			20
ポップコーンテニスクラブ			22
府庁亀岡テニスクラブ			24
さつきテニスクラブ			26
亀岡フレンドテニスクラブ			28
ビギンテニスクラブ			30
K L テニスクラブ			32
ウイニングテニスクラブ			34
剛球テニスクラブ			36

K スリーテニスクラブ	38
亀岡エバグリーンテニスクラブ	40
アドバンステニスクラブ	42
京都文化短期大学硬式テニス部	44
亀岡高等学校硬式テニス部	46
にのうみテニスクラブ	48
8. 過去の大会記録	50
9. クラブ対抗戦成績	53
10. 設立10周年記念事業実行委員会の組織	54
11. 編集の後に記	

本誌は、この創刊以来、多くの読者の御愛顧を蒙り、このたびは、10周年記念事業の一環として、この10年間の歴史を振り返ることにいたしました。この10年間は、多くの困難を乗り越え、成長を遂げた時期であり、同時に、多くの喜びと感動を味わった時期でもありました。この10年間の歴史を振り返ることは、単に過去の出来事を知るだけでなく、今後の活動の方向性を考えるための貴重な機会でもあります。

本誌の発行は、読者の御愛顧と御協力のおかげです。この10年間の歴史を振り返ることは、単に過去の出来事を知るだけでなく、今後の活動の方向性を考えるための貴重な機会でもあります。

本誌の発行は、読者の御愛顧と御協力のおかげです。この10年間の歴史を振り返ることは、単に過去の出来事を知るだけでなく、今後の活動の方向性を考えるための貴重な機会でもあります。

本誌の発行は、読者の御愛顧と御協力のおかげです。この10年間の歴史を振り返ることは、単に過去の出来事を知るだけでなく、今後の活動の方向性を考えるための貴重な機会でもあります。

本誌の発行は、読者の御愛顧と御協力のおかげです。この10年間の歴史を振り返ることは、単に過去の出来事を知るだけでなく、今後の活動の方向性を考えるための貴重な機会でもあります。



本誌の発行は、読者の御愛顧と御協力のおかげです。この10年間の歴史を振り返ることは、単に過去の出来事を知るだけでなく、今後の活動の方向性を考えるための貴重な機会でもあります。

本誌の発行は、読者の御愛顧と御協力のおかげです。この10年間の歴史を振り返ることは、単に過去の出来事を知るだけでなく、今後の活動の方向性を考えるための貴重な機会でもあります。

10年のあゆみ

亀岡市テニス協会は、昭和53年に設立され、今年で10周年を迎えた。

設立までの亀岡市のテニス

昭和49年に亀岡市硬式テニスクラブが発足、昭和51年青少年センターでテニスクラブが動き、その他亀岡市内の大学や職場でテニスクラブが結成されるなど、次第にテニスの組織が確立してきた。

当時テニスコートは、春日坂に2面（クレー）と青少年センターに仮設のコートが4面あったが昭和53年4月亀岡市運動公園にテニスコート9面が完成、全国的なテニスブーム、施設の整備充実等の中で亀岡市の硬式テニス愛好者は急速に増大してきた。

それまでの組織的な活動は、軟式テニスの各クラブで組織する亀岡市庭球協会が昭和30年に設立され活動していたが、昭和53年3月に亀岡硬式テニスクラブが加盟した。しかし軟式テニスと硬式テニスの同一組織での運営活動の困難性から両関係者から発展的に分離の声が高まった。

昭和53年 設立の活動

硬式関係者は、昭和53年4月に青少年センターの小川博、学園大学の橋本禎万、亀岡クラブの田村弘文の3氏が会合し、硬式庭球協会設立のため努力することに合意した。同年6月に設立準備会を5団体の出席で開催し、亀岡市硬式庭球協会設立の具体化計画が進められていった。

7月に亀岡市中央公民館において、設立のための理事会を7団体の出席で開催し、規約を決定、会長に稲本高昌氏、理事長に田村氏をはじめとす

る役員を選任し、正式に亀岡市硬式庭球協会が発足した。発足当初、加盟7クラブ、加盟会員数106人の組織であった。

この年の主な活動としては、平和祭庭球大会、秋季大会を開催するとともに、テニスの普及拡大のためテニス教室（月、水、金、日曜日の週4回）を開設した。

昭和54年～昭和57年の活動

軟式協会から独立した硬式庭球協会は、昭和54年亀岡市体育協会にも加盟を認められ体協の員として体協事業にも参画していくことになった。

昭和55年8月には、市営春日坂コートが改修され全天候型ナイター付テニスコートになり、協会の発展に大きな役割を果たした。（協会はオープン記念大会を開催した）

この間、協会の主管する大会も、平和祭、秋季大会の他に、春季大会（昭和54年から）、秋に初のオープン試合とした社会人オープン大会（昭和57年から）を開催し、現在も大会を引き継ぎ協会の重要事業として行っている。

この間には、稲本会長を中心に市営コートをフル活用した週3回の平日のテニススクールを各加盟クラブの協力を得ながら開設し、特に家庭婦人層を中心としたテニス愛好者が急速に増加した。また平日スクールの他にも毎年何回かの初心者テニス教室を開設、テニス普及拡大に努力を行い、受講終了者にクラブづくりを指導してきた。

加盟クラブの練習コートとして、亀岡市の協力を得て土、日曜日の運動公園コートを利用させてもらい会員の増大の中での協会のクラブ育成に有

効な役割を果たしてきた。

昭和58年～昭和62年の活動

昭和58年会員の増大する中で体制強化のため組織を改正し事業部（競技大会の企画運営）指導部（指導者育成、ジュニア育成、教室の開設の企画運営）を設置し、現在の組織体制に改正を行った。また名称も亀岡市硬式庭球協会を亀岡市テニス協会と改名した。また、この年から新しく会長に小川氏を選任した。

新しい体制を確立した協会は、懸案であった京都府テニス協会の加盟を検討、昭和60年1月理事会において決定し、府協会にも承認され、京都府テニス協会の一員として活動していくことになった。

昭和58年ごろから協会は、ジュニアスクールを開催、ジュニアの育成にも力を入れてきた。そんな中で府立亀岡高校にも、協会の中で指導部として活躍してこられた川辺泰文氏が体育教諭として赴任される等条件が整う中で昭和60年同好会が結成され、昭和61年協会に加盟し、現在協会各事業に積極的に参加している。

この間の事業部の事業としては、春季大会、平和祭大会、秋季大会、社会人オープン、クラブ対抗戦の他に、昭和61年から会長杯として混合ダブルスをひとつの大会として位置づけ秋に実施することとした。この大会にも毎年多くの夫婦ペア等が参加されている。また、昭和61年に京都国体の施設として建設された亀岡市民体育館を利用しテニススクールや合同練習に利用するとともに、昭和63年2月に第1回室内選手権（男女ダブルス）を実施することになった。

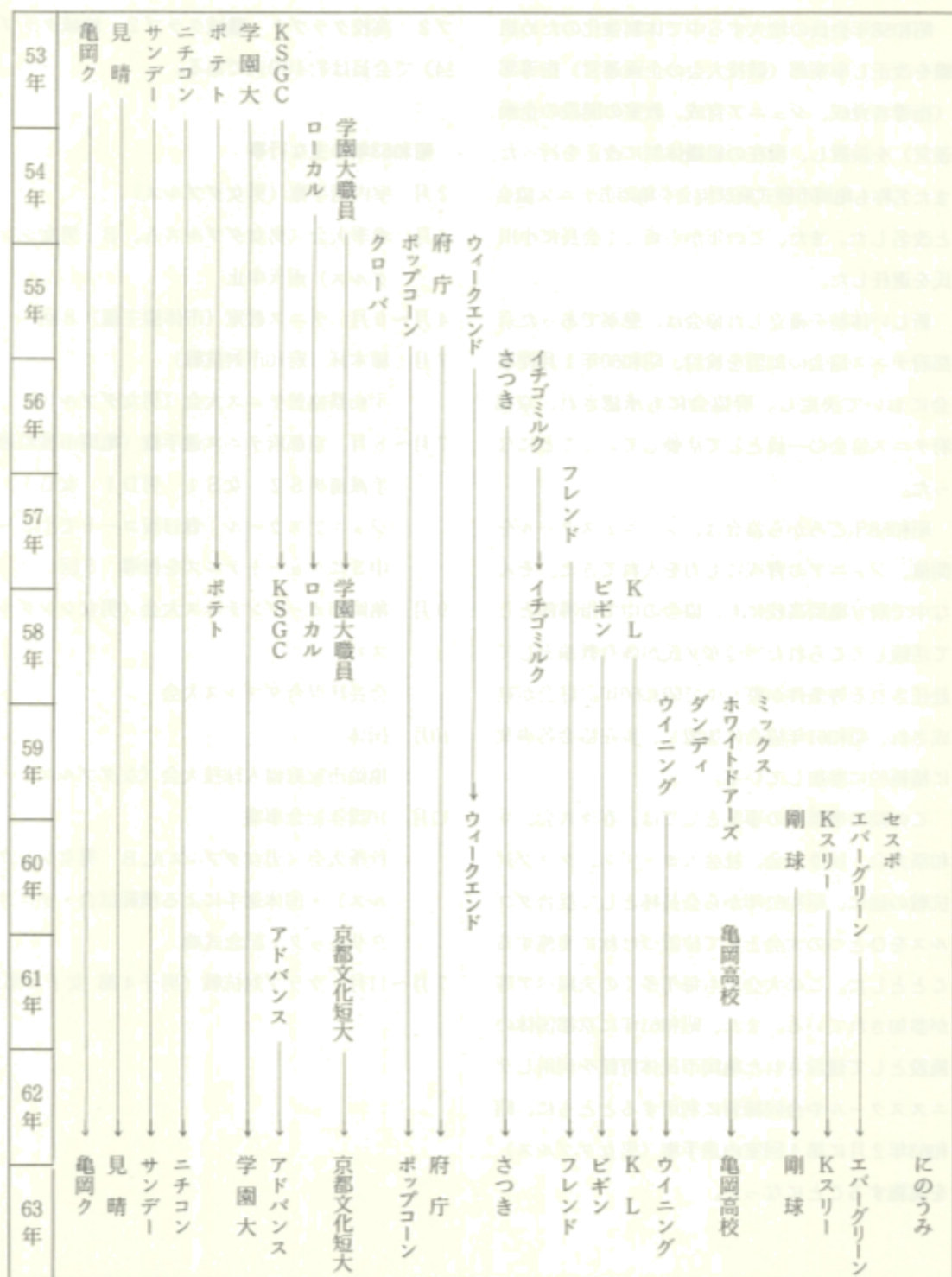
昭和63年（現在の亀岡市テニス協会）

現在、協会の登録団体は、19クラブ（大学クラブ2 高校クラブ1 職域クラブ2 地域クラブ14）で会員は約480人である。

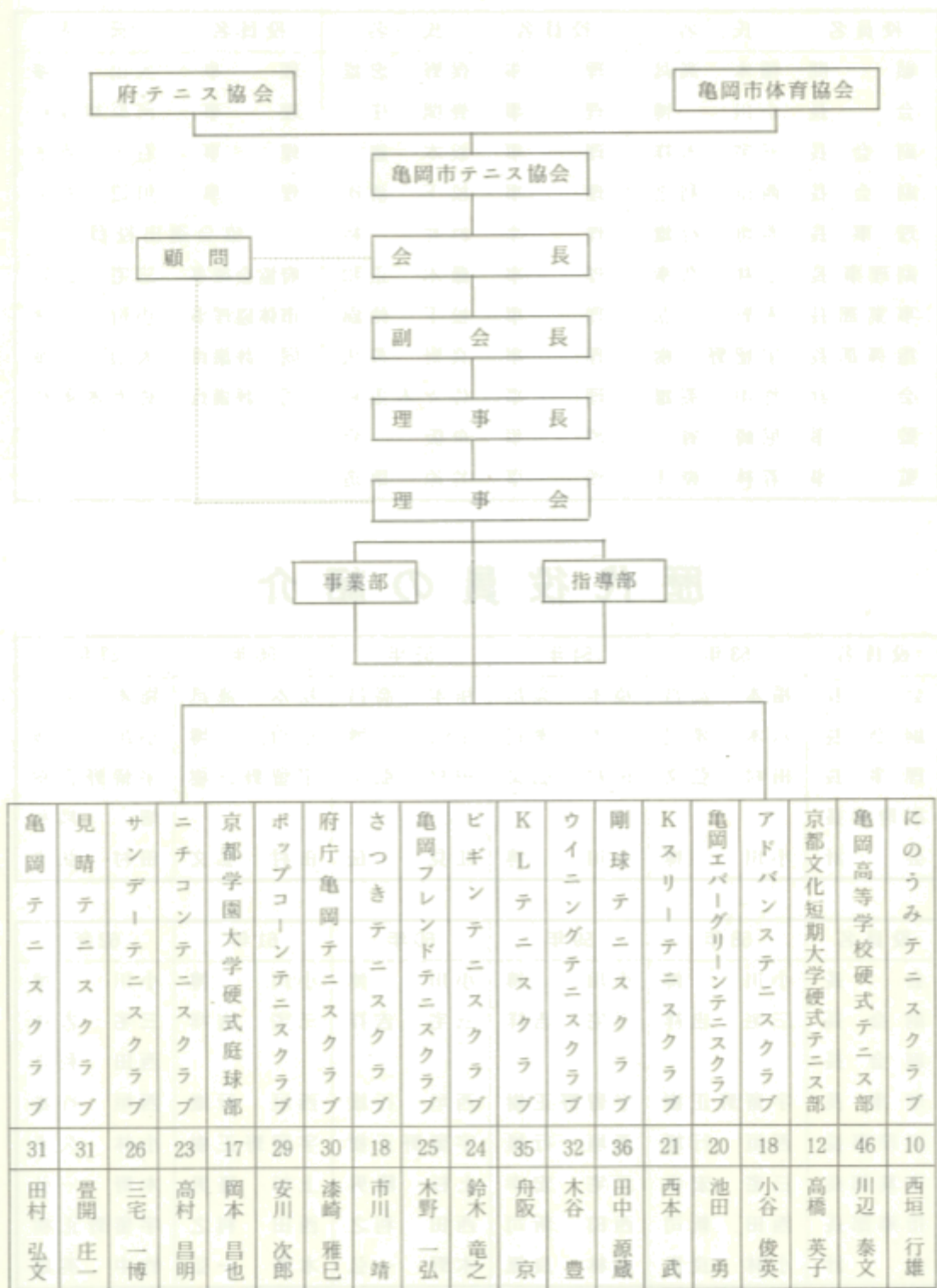
昭和63年の主な行事

- 2月 室内選手権（男女ダブルス）
- 4月 春季大会（男女ダブルスA、B 男女シングルス）雨天中止
- 4月～6月 テニス教室（市体協主催）8回
- 7月 植木杯（府10市対抗戦）
平和祭協賛テニス大会（男女ダブルス）
- 7月～8月 京都府テニス選手権（亀岡市推薦選手派遣男S2 女S1 男D1 女D1）
ジュニアスクール 春日坂コートで小3～中3にショートテニスを指導 5回
- 9月 亀岡市オープンテニス大会（男女シングルス）
会長杯混合ダブルス大会
- 10月 国体
亀岡市家庭婦人球技大会（女ダブルス）
- 11月 10周年記念事業
秋季大会（男女ダブルスA、B 男女シングルス）・国体選手による模範試合・テニスクリニック・記念式典
- 7月～11月 クラブ対抗戦（男子4部 女子3部）

クラブの移り変わり



協会組織図



63年度 協会役員名簿

役員名	氏名	役員名	氏名	役員名	氏名
顧問	稲本 高昌	理事	俣野 忠雄	理事	大山 肇
会長	小川 博	理事	豊開 庄一	理事	河原林 成行
副会長	三宅 吉祥	理事	坂本 憲一	理事	石上 克子
副会長	西田 利之	理事	松下 清次	理事	川辺 泰文
理事長	西垣 行雄	理事	榭井 裕	協会選出役員	
副理事長	小林 久幸	理事	藤本 正和	府協会理事	三宅 吉祥
事業部長	木野 一弘	理事	松下 伸顕	市体協理事	小川 博
指導部長	宇留野 正樹	理事	真野 義久	同 評議員	大山 肇
会計	竹中 英雄	理事	佐々木 重和	同 評議員	佐々木 重和
監事	尼崎 省二	理事	舟阪 京		
監事	若林 俊江	理事	竹原 康造		

歴代役員紹介

役員名	53年	54年	55年	56年	57年
会長	稲本 高昌	稲本 高昌	稲本 高昌	稲本 高昌	稲本 高昌
副会長	八木 孝司	八木 孝司	小川 博	小川 博	小川 博
理事長	田村 弘文	田村 弘文	田村 弘文	宇留野 正樹	宇留野 正樹
副理事長					畑 昌利
会計	小川 博	小川 博	江見 伝	田村 弘文	田村 弘文

役員名	58年	59年	60年	61年	62年
会長	小川 博	小川 博	小川 博	小川 博	小川 博
副会長	三宅 吉祥	三宅 吉祥	三宅 吉祥	三宅 吉祥	三宅 吉祥
副会長					西田 利之
理事長	宇留野 正樹	宇留野 正樹	西垣 行雄	西垣 行雄	西垣 行雄
副理事長	西垣 行雄	西垣 行雄	宇留野 正樹	宇留野 正樹	小林 久幸
事業部長	三宅 宏幸	三宅 宏幸	上杉 隆男	上杉 隆男	木野 一弘
指導部長	西田 新司	西田 新司	西田 利之	西田 利之	宇留野 正樹
会計	小林 良胤	小林 良胤	木野 一弘	木野 一弘	竹中 英雄

テニス協会表彰者の紹介

63.10.23選考委員会で「亀岡市テニス協会表彰規定」に基づき審議の結果、下記の方を表彰することに決定しました。

被表彰者氏名	経 歴 等	現 役 職
稲 本 高 昌	53～57年会長	協 会 顧 問
宇留野 正 樹	56～59年理事長、60・61年副理事長、 62年～指導部長	協会指導部長
木 野 一 弘	57年～亀岡フレンド代表	協会事業部長
田 村 弘 文	53年～亀岡クラブ代表、53～55年理事長 56～57年会計	亀 岡 ク 代 表
安 川 次 郎	56年～ポップコーン代表	ポ ッ プ 代 表
三 宅 吉 祥	58年～副会長	協 会 副 会 長
川 辺 泰 文	選手の育成指導に貢献、61年平和祭複優勝 (単優勝1、複優勝5、複準優勝3)	亀 岡 高 校 テ ニ ス 部 顧 問
木 谷 豊	選手の育成指導に貢献、58年春季複優勝 (複優勝5、複準優勝2)	ウ イ ニ ン グ 代 表
西 田 利 之	選手の育成指導に貢献、62年秋季単優勝 (単優勝3、単準優勝4、複準優勝3)	協 会 副 会 長
赤 尾 次 代	63年平和祭複優勝 (複優勝8、複準優勝1)	
石 田 小 夜 子	60年平和祭複優勝 (複優勝1、複準優勝2、単準優勝3)	
大 西 美 智 子	62年秋季複優勝 (複優勝6、複準優勝9、単準優勝4)	
小 林 勝 子	63年平和祭複優勝 (複優勝10、複準優勝3)	
中 村 剛	63年オープン単優勝 (単優勝2、単準優勝1、複優勝2、複準優勝2)	
藤 井 絢 子	61年秋季単優勝 (単優勝2、複優勝4、複準優勝6)	
三 宅 房 子	62年秋季複優勝 (単優勝1、単準優勝3、複優勝8、複準優勝4)	
森 本 英 一	62年会長杯混複優勝 (単優勝2、単準優勝3、複優勝7、複準優勝2)	

真の「市民テニスクラブ」 づくりを目指して

亀岡テニスクラブ

我がクラブの発足は昭和48年8月である。今年で15年目を迎えることになる。会員数は63年1月1日現在31名である。発足当時は亀岡市に正式な硬式テニスクラブは他に存在していなかったものと推測されるが、軟式テニスは亀岡高校軟式庭球部のOBで結成していた春日坂テニスクラブの活動が盛んであった。その会員の中から硬式テニスをやってみたいという声もり盛り上り、大槻秧司、土居重光、芝田敏男、田村弘文、各氏の4人が発起人となって、名称も亀岡硬式テニスクラブとして、我がクラブの発足を見たのであります。当初の会員は個別に勧誘した者で構成しておりまして、10人余の会員数でありました。48年発足時から53年4月に吉川に亀岡市営コートが9面完成するまでは大変苦しい5年間でありました。要するに練習コートを確認するのが、容易でなかったということです。

当時市営コートというのは春日坂に2面あっただけなのです。そのコートはテニスコートというには、誠にお粗末なコートで、昔の亀山城の内堀があった所で、それを唯、土で埋めただけのものだったのです。ですから水はけは悪く、小石が表面にぼこぼこ出ており、イレギュラーの連続でした。それにエンドラインと周囲のフェンスの距離が大変短く、唯コート大の広場が存在した、という程度のコートでした。そのコートで、軟式クラブと共用のため、月2回の日曜日しか使用出来ず、発足時の練習は隔週の月2回だけでした。

2年間程は月2回の練習で会員は一応満足していたのですが、3年目からはそれでは満足出来ず、少なく共、毎週日曜日は練習したいという希望が出てきて、春日坂コート以外に、学園大学コートと丹波自然運動公園コートを使用する様になりました。

春日坂コートは無料、学園大学は使用料が高く、丹波自然運動公園は距離が遠く、各々、一長一短があって、3年間練習するのに大変苦勞しました。

そして待望の吉川テニスコートが9面完成した時は、あゝ、これでやっと毎週練習日のコート取りが楽になるとほっとしたと同時に、大変うれしく思った事が忘れ

られません。

53年からは毎日曜日、コートも2面使用出来る様になり、亀岡市に感謝すると共に、今日までの市のスポーツ施設の立ち遅れを痛感せずにはいませんでした。

亀岡クラブの特色は、真の市民テニスクラブであるという事です。年齢でいえば上は60歳近い者から、下は高校生まで老若男女を問わず入会したい方は誰でも気軽に入会出来るクラブです。会の運営も、一応、会則は定めてありますが、その運用にあたっては柔軟に対応して運営しております。役員も部長、会計、練習の指導者だけきめております。これからも亀岡クラブは、入会したい方は誰でも門戸を広く受入れ、テニスを心から愛し、楽しみ、技術の向上を目指す事をモットーに行きたいと思っています。

昭和63年度亀岡テニスクラブ会員

部 長	田村弘文	有吉春男・安藤嘉章・井上 喬・大槻俊州・大西美智子・
理 事	俣野忠雄	木下 進・君島 茂・君島敬子・後藤典子・佐藤一郎・
事業部	山田恭弘	四方夏樹・田村雅美・西田利之・西田慶子・西田 修・
指導員	大西和彦	二本柳賢司・八田年郎・八田久子・原田博司・樋口延子・
	森 嵩	三宅宏幸・三宅房子・森本節子・森 凛子・山名正弥
会 計	森本英一	



明るくさわやかに

見晴テニスクラブ

私達は、昭和51年、9名で硬式テニスの同好会を結成し、吉川プール横の青少年センターテニスコートで練習を行なっていました。会員は初めてテニスラケットを握る者、以前に軟式テニスをやっていた者が主で、硬式テニスとしては初心者が大部分でした。最初はボールが思うようにラケットにあたらず空振りしたり、ボールがプールに飛び込んだり、失敗、珍プレーの連続でした。練習は隔週土曜日に行かない、当時青少年センター所長であった現協会会長の小川さんにも加わっていただき、ゲーム中心の練習で一日中楽しみました。その後、昭和53年運動公園テニスコートの開設、亀岡テニス協会の設立と同時に、見晴テニスクラブ、と命名し、協会に加盟、協会主催の大会にも参加協力致しました。

現在では、クラブ員は男子20名、女子11名の総勢31名に達し、ますます盛況をきわめております。練習日は、現在、毎週土曜日全日（4番コート）で、午前中はストローク、ボレー、スマッシュ、サーブ、振り回し等の基礎練習の反復、午後は、ゲームを主体としています。また、時々、専門のコーチを招き、フォームなどの矯正チェックを行なっています。

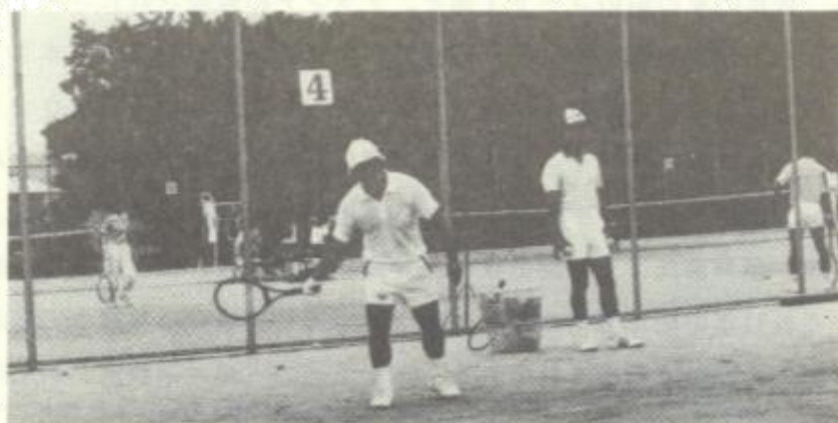
見晴クラブでは、テニス技術の向上、体力の強化維持、親睦を主な目的とし、規律ある練習およびクラブの運営に努めています。また、テニス大会、クラブ対抗戦、テニススクールなどの協会主催の行事にも積極的に参加致しております。クラブ員はテニスの虫ばかりで土曜日が待ちどろしく、金曜日になると明日の天気気になる者ばかりです（仕事は、勿論、手を抜いたりはしておりません）。最近では、全員が真夏の暑さにも負けない体力を身につけることが出来るようになり、一日が、むしろ、短く思えるほどです。体育館ができてからは、雨の日や冬期には室内で練習を行なうことにしております。今年は雨の日が多く、おかげで室内でのボールのスピードにもついていけるようになりました。

見晴クラブは、早いもので今年と同好会結成時より13年目に当たります。今後は、基本プレーを見直し、正確な技術とスピードを身につけるとともに、若手の加入、

育成にも力を入れたいと思っております。また、亀岡テニス協会の発展のために一層協力していきたいと思っております。

昭和63年度見晴テニスクラブ会員

協会副会長	三宅吉祥	理	事	豊開庄一	事業部会計	柴田芳久
林 富国	楠瀬進介	西 豊行	中村康雄	泉 正悟	小原次男	
佐々木康男	幸 哲夫	西尾庄平	三森信夫	猪原靖弘	角 素成	
河野辰彦	西田 裕	増田真一	松崎卓士	勝田義弘	西山澄代	
三宅美智子	高尾和恵	楠瀬美恵子	山本千恵子	林 豊子	奥田洋子	
泉 敏美	三浦弘子	橋本富美子	中田弘子			



テニス教室, 最初のクラブ

サンデーテニスクラブ

11年前、亀岡市青年の家のテニスコートで水曜クラブが定期的に練習を行っていた。その中からテニス教室を開こうと意見が出た。昭和52年秋、亀岡市教育委員会主催のもと青年の家の小川博氏（当時青年の家所長、現亀岡市テニス協会会長）が主体となり、市の公報にテニス教室の募集を出した。応募した教室生を対象に水曜クラブの橋本禎万氏（現学園大学教授）を中心にして、同氏が呼んで来られた3名のコーチのもと計10回毎日曜日の午前に教室は開催された。これが亀岡市によって行なわれた最初の硬式テニス教室であった。

教室生は約30名、青年の家の前のコート1面と、グラウンドに仮設されたコート3面で打ち走りまわった。10回の教室終了後、昭和50年末に約20名の教室生で本クラブが結成された。名称は日曜日の教室だからサンデーをとり、少し気どってローンをつけた。そこで、サンデーローンテニスクラブが誕生した。名称が少し長い間にかローンが抜けてサンデーテニスクラブとなった。初代会長は中氏、その後順に加河昇氏、藤井薫氏、上杉隆男氏、藤井薫氏と継がれ、現在の三宅一博氏となっている。この11年の間に当初の教室生は全員退部し、現在は教室生でなかった人と途中で入部した部員で構成されており、タイトルの「テニス教室、最初のクラブ」とは云いにくい。また途中でエバグリーンが分離している。

練習日は教室と同じ日曜日の午前と決め、青年の家のコートで行なった。翌53年4月に現在の亀岡運動公園のテニスコートが完成し、そのコートで練習を行なうようになった。発足初期は西田利之氏（現亀岡市テニス協会副会長）等にしばらく指導してもらったこともあるが、その後適格な指導者がなく、部員ひとり、ひとりを見ると自己流の個性あるホームで打っている。元々スポーツをしていた部員が多く、又京都方面で教わった部員等上達も早く、体力もあり、部員の変動があっても常に大会では上位の戦績を残す部員が出ることは嬉しいことである。又当初より実力を向上させトップになろうとする部員と、どちらかと云えば趣味と健康のためのテニスをする部員がいて、実力格差のある相方が満足できる練習を行なうことが難しい。又女

性部員が少なくクラブ対抗に出場できない現状である。今後は女性部員を増やし、実力差を縮め、いろいろな人が爽快な汗を流せる個性あるクラブでありたい。



部員紹介： 三宅一博（現会長、元事業部員、元指導員） 上杉隆男（元会長、前理事、前事業副部長） 上杉立子（元会計） 深谷憲司（元理事、元指導員） 藤井薫（前会長、元会長、元指導員） 藤井絢子 手島秀（現指導員、前事業部員） 土井龍雄 堀江太郎（前会計） 河村義幸（現マネージャー） 坂本賢一（現副会長、現事業副部長） 北村敏雄（現事業部員） 俣野弘和（現指導員） 高木雅志 鈴木真俊（現会計） 三宅芳子 森茂行 森夏美 田中成一 東玲子 瀬川幸子 長尾誠 多々良敏行 堀江貴之

チームワーク抜群

ニチコンテニスクラブ

〔設立のいきさつ〕

亀岡市テニス協会設立10周年おめでとうございます。ニチコンテニスクラブも今年でちょうど10年目を迎えました。初め、テニス大好き仲間が4、5人集まってやり始め、その後1人、2人と増えてきて、今では23人となりました。クラブが会社にあるという事で、クラブ員の補充も毎年新入社員が何名か入部してくれますので運営の方も楽です。

〔活動状況〕

練習時間……練習は、毎週水曜日の18時～20時までの2時間を春日坂コートで、毎週土曜日の9時～13時までの4時間を吉川コートで行っています。それとクラブ員ではないのですが、会社の中にもテニス好きな人が大勢いらっしゃるれて、クラブ員と日曜日に練習をしています。練習の内容は、乱打、サーブ、ボレーを中心とした基本練習を行い、そのあと、シングルス、ダブルスの試合を行っています。しかし、そういった練習も人数が揃っていないので、通常は乱打、サーブ練習をして試合を行っています。以前、会社の中庭にテニスコートがあったらしいのですが、今では見る影もないぐらいに荒れています。しかし、新しくテニスコート（アスファルトに線を引くぐらい）をつくるという事でますますテニス熱が盛んになり、ニチコンテニスクラブの層も厚くなると思っています。

合宿……毎年、年1回の割合で合宿を予定し行っています。（昨年から）。一泊二日ぐらいで、昨年は信州の方へ、今年は近くで周山の方で夏合宿を行いました。合宿と言いましても内容の方はワイワイ、ガヤガヤ騒ぎながら老若男女問わず楽しんで遊んでいる程度です。今後も合宿はチームワークを深める事を中心に考え、計画していきたいと考えています。

〔クラブの特色〕

クラブの特色は何と言ってもチームワークが抜群ということです。クラブが社内にあるということで、つながりが縦横になっていまして、そのことにより益々チームワークが付き、大変ファミリー的なつきあいをしています。中にはウエディングベルを鳴らしたカップルも何組もあり、大変縁起のよいクラブでもあります。

〔今後の抱負〕

とにかくチームワークが抜群であり、平均年齢も20代で活発なんです、なにぶん技術力の方がともなわず、今後の抱負としましては、高村キャプテンを中心に練習に励み、春、夏、秋の大会には2回戦、3回戦へと進めるチームを育てていきたいと思っています。

〔クラブ員の紹介〕

〔理事〕 松下 清次 〔事業部長〕 松宮 博之 〔部長〕 高村 昌明

〔メンバー〕

楠田 晴之・浜田 勝・森田 秀一・松永 嘉市・前多 真佐雄・前野 憲久
清水 達也・波多野 守・上野 修司・酒井 剛・関岡 繁紀
井上 典代・西田 明美・新居 早苗・高村 智子・松山 由起子
西山 夏美・江見 幸・大東 美也子・平井 かおり



Self - Discipline

京都学園大学硬式庭球部



此の度、亀岡市テニス協会の10周年記念事業の開催にあたり、心よりお祝い申し上げます。

京都学園大学硬式庭球部は、本大学開学間もない昭和44年7月、庭球同好会として発足しました。対抗戦や各大学との定期戦等の活動が学校側に認められ、46年部に昇格、京都学生庭球連盟に加入したのち、諸先輩方の並々ならぬ御尽力により、47年ついに関西学生庭球連盟に加入することができ、今日の体育会硬式庭球部としてのスタートを切ったのです。

現在、部員は四回生6名、三回生5名（内女子1名）、二回生5名、一回生5名（内女子1名）の計21名で活動しており、毎年11月に幹部交代を行い、三回生の幹部を中心とした部の運営を行っています。

簡単に活動内容をいいますと、原則的に日曜日以外は毎日練習。

2面のコートを使い月曜日から金曜日は、講義終了後の午後4時から約2時間、我が部独自の練習内容で、土曜日は午後から試合を中心としたスケジュールを、講義の空いている時間は各自の自主練習にあてています。

氏名	学年	氏名	学年
板下 尚也	4	長沢 慎吾	2
森本 康夫	4	池上 智	2
新居 泰介	4	平井 久雅	2
竹原 利浩	4	西山 克久	2
田村 桂一	4	田中 潤	2
榎屋 康弘	4	安藤 智章	1
岡本 昌也	3	平井 圭介	1
萬川 裕起	3	三木 宏典	1
榎井 裕	3	辻 昌男	1
波多野久雄	3	坂口智恵子	1
大黒谷和枝	3		



63年度

62年度

顧問 島田克美

主将・代表 岡本昌也

板下尚也

副将・理事 榎井 裕

竹原利浩

事業部長 長沢慎吾

さらに春・夏休みを利用した集中的な練習、10日間あまりの夏合宿等です。がしかし、冬はテニスコートに霜が降り、ほとんどボールを打つことができないのが悩みの種です。

我が庭球部は、初心者がほとんどを占めるうえ、指導者も不在で、主に上級生が下級生にアドバイスをするというものなので、技術的進歩に限界があり、抜本的な改善が必要です。これからは、今まで以上に部員各自が己の目標を持ち、互いに競い合い技術を高めて、テニス楽しく、しかしながら「勝つ」テニスを目指し、一致団結して頑張るつもりです。

現状維持は衰退の始まりである。

京園大硬式庭球部設立20周年を来年に控え、我々は、諸先輩方が残された伝統を守りつつ、常に前向きな姿勢で部活動の更なる発展に努めることをここに誓います。

楽しくやろう!!

ポップコーンテニスクラブ

当初スキー仲間、オフシーズンに何か運動をしようということで、やりはじめたのがテニスであり、活気のあるクラブにするため、ポップコーンのように、ボンボンとはじける元気らしさをとクラブの名をつけ、昭和55年に正式に協会へ登録をした。

クラブの特徴としては、友達の輪を第一に、市役所職員を中心に仲間が増えて行き、現在では女子高生を含め幅広くなっている。大会では男性よりも女性の方が成績がよく、女性の発言権は強いのも一つの特徴である。決してテニスが上手ではないが、クラブのまとまりは大変よい。

又、テニス以外にも、スキー、ゴルフ、バレーボール、卓球、野球、ソフトボール等幅広くスポーツをやっている仲間が数多く、テニスはそれらスポーツの中の一つにすぎないぐらいみんなスポーツ好きの集りでもある。

ただ、テニス経験者がいないので、みんな自己流になっていま一つ上達しないのが悩みの種である。しかし、そのようなことを気にせず、楽しくテニスをしているのが今のクラブの現状であり、これからもそうであるように思える。

今後、テニス仲間、旅行や、家族ぐるみの付き合いを深め、永くクラブを存続させて行きたいものである。

追伸、はっきり言って、女性上位の
クラブです。ハイ!!



花の女子高生



はっきり言って
身はみんな
けです?

おせいちゃん
お顔クワイ!

サンキューてるる
はもういんせん

観音峠をこ
ふところは田舎
だった……かな?

ハリくん

なぜか小こ顔

ハイ、彼女
お羨しいはこ
えなわけ

5時から奥さん

レホップの豊口茂

ちがいのわがる
00代 ヽ

笑ってる間に
おバサンになりました。

パンダではありませぬ

さて、私は
何オでしょう?

父は
小林アキラ

どすこい

おんおひ
たオバカボン
を見ようぜ

私は
ピア)

ポンプの
お宝を盗

ミック
高野

魚翅の張津甚川に
おえるかなあ

私はハチの兼ではありませぬ

舌言葉は
くう、ゆるゆるゆる……

場ちがいの男
ミスターふん

テニスに広げよう
世界の輪?????……

ハイスクール
ギャル

ポップ・ステップ・ジャンプ!!

新しい歴史に向かって走ろう

府庁亀岡テニスクラブ

亀岡市テニス協会設立10周年おめでとうございます。

さて府庁亀岡テニスクラブは、職員の健康増進と親睦を図るのを目的に昭和54年9月クラブとして発足しました。おりしも日本中がテニスブームのさなかであり、また府総合庁舎が荒塚町の現在地に竣工した際テニスコートが整備されたこともあって、翌55年に協会に加入したときには、すでに部員は50名を数える大所帯でした。現在でも管内6公所（地方振興局、土木事務所、保健所、農業改良普及所、および農業総合研究所（余部町）、病虫害防除所（同））計175名の職員の約3分の1にあたる57名が部員として一緒に汗を流しています。

部員のテニス歴はさまざまで、学生時代を通じてやっている者もいればテニスそのものが初めてといった者もありますが、それぞれが自分なりに時間の都合のつく昼休みだとか、あるいは勤務時間後だとかにコートに出て練習に励んでいます。

クラブとしての活動は、協会主催の各種テニストーナメントに参加する他、クラブ内トーナメント、他公所交流試合、合宿、初心者講習などといった独自の催しも行っています。

ところで、当クラブは職域クラブということで職場を媒体として運営されており、従って年齢層も広く、職員の通勤距離もまちまちであり、また人事異動に際して毎年全職員の3分の1が入れ替わってしまうなどの点からクラブとして組織的な、あるいは体系的な指導および練習によるレベルアップが図りにくいといった現状があり、親睦を深めながらこれをどう克服していくかが課題といえます。

幸いにも今年は日本テニス協会公認の指導員である方が赴任してこられたこともあり、これからはより多くの試合にも参加して協会加入の他クラブの方々とも交流をもって競技力向上とより一層の親睦を図り、そして協会と共に府庁亀岡テニスクラブも新たな発展を遂げていきたいと思っています。



昭和63年度 事業計画

- 〔5 月〕・市春季テニス大会（市テニス協会主催）
 - ・第7回府職員テニストーナメント
 - ・昭和63年度総会
- 〔6 月〕・テニス教室Ⅰ
 - ・コート整備、除草および清掃
- 〔7 月〕・他公所交流テニス大会
 - ・テニス教室Ⅱ
- 〔8 月〕・市平和祭市民テニス大会（市テニス協会主催）
- 〔9 月〕・市社会人オープンテニス大会（市テニス協会主催）
 - ・市協会会長杯混合ダブルステニス大会（市テニス協会主催）
 - ・クラブ内対抗戦（～10月）
- 〔10 月〕・市テニス協会クラブ対抗戦（市テニス協会主催）
 - ・合 宿
- 〔11 月〕・市秋季テニス大会（市テニス協会主催）
 - ・他公所交流テニス大会
 - ・室内テニス練習会
- 〔2 月〕・市室内テニス選手権大会（市テニス協会主催）
- 〔3 月〕・昭和63年度納会

Joyful Life!

さつきテニスクラブ

昭和56年のクラブ結成以来、今年で7年になります。設立の経緯は、同年5月亀岡市のテニス・スクールに初めてラケットを手にする受講生として参加、先生方の指導のよろしきを得てか、生徒のしつこい熱意か、はたまたテニスブームに便乗してか、スクール終了後も続けたいという有志により結成をみるに至りました。

クラブ名は、発想の貧困さも手伝って迷案・珍案ばかりでまともならず、結局、スクールが5月に始まったこと、比較的若くはないメンバーが多く、卑月の縁（“五月みどり”にあらず）のように、いつまでも若々しく Beautiful に人生を Enjoy したい等の願いをこめて“さつきクラブ”と命名されました。



それ以来、7年の歳月が流れ、結成時のメンバー5名は願いが叶いますます若くなり？ 新たに若いメンバーも加わって総勢18名、毎週土曜日の午後を練習日と定め、常時10名前後のメンバーが家族的な雰囲気の中でテニスを楽しんでいます。

各種大会には“参加することに意義あり”とのオリンピック精神にもとづき、果敢にチャレンジしていますが、若さのわりには足の衰えが激しく、成績はイマイチで、昨年度の秋季大会男子ダブルスBの準優勝が頂点です。これを契機にメンバーは優勝は射程距離に入ったと意気軒昂ですが、優勝を狙う秘策としては、足に期待せず、手八丁・口八丁ということになりそうです。

クラブの悩みとしては、指導層が手薄なことと若い層が少ないことです。活性化のためには、幅広い年齢構成が必要に思います。したがって、指導者研修会やクラブ交流試合の機会を通して学んでいくとともに、クラブに新しい若いメンバーを入れることです。とくに若いギャルが入ってくると、メンバーの技量は飛躍的に上達

し、優勝はますます可能性を帯びてくるのではないかと、密かな期待もあります。

さて、ここで役員とメンバーの一部を紹介しますと、

市川代表（立命館大学勤務）—— 魚つり、園芸等なんでもこなすマルチ型人間、
どれもモノにならないのがタマにキズとか。ユーモア・皮肉大好き。

松下理事（第一工業製薬勤務）—— 一番オジサンらしい人なのに気が若く、いつ
もニコニコと柔らかく人に接して信頼感がある。お酒大好き。

高木事業部担当（三菱電機勤務）—— 几帳面さとテニスの腕前は、わがクラブ随
一。夫唱婦随で練習に励むナイスカップル。カアちゃん大好き。

常富指導部担当（三菱自工勤務）—— 結成以来の当クラブの大黒柱。練習の厳し
さは学生時代のボート部仕込みとか。内助の功多し。短気大好き。

常富会計担当（常富夫人・主婦）—— わがクラブのお母さんの存在。しっかり
財布を頂かって男性の浪費を監視。軟式の癖が抜けません。休憩大好き。

寡黙で二枚目風でスマートにテニスを楽しむ川江氏（前事業部担当）、エキゾチ
ックな風情で明るさが漂う森谷氏夫妻、話題豊富で安定感には定評のある田中氏夫
妻、サッカーで鍛えた足腰がさえる華麗なフォームの佐藤氏、忘れかけると練習に
来る準優勝経験者の田中氏、サウスポーで体重を乗せたショットで男性を圧倒する
斉藤さん、着物姿が似合うと自称する貴重な独身ギャルの大石さん、等々……多彩
な顔ぶれです。

今後も At Home な雰囲気の中でテニスを楽しみ、協会の末席をけがすことにな
りますが、よろしくご指導・ご鞭撻をお願いします。



いい汗・さわやか・ビールがうまい

亀岡フレンドテニスクラブ

ボールがスイートスポットに当たらない。ネットをこさないこともしばしば。「しっかりボールをみて！」「ラケットはよ引かんかいな！」稲本先生のきびしい声。「あのころ生まれた子供が四年生や。」と仲間のひとり。



わがクラブは昭和56年12月、稲本先生に顧問をお願いし、木野氏を部長にしてうぶ声をあげた。メンバーは53～56年、市のテニススクール初心者コースの有志35名。

その後、多くの人がコートに顔を出さなくなってしまったが、当時から今日までダンロップイエローをたたきつけて、さわやかな気分ひたってきた仲間は、石黒・石田・大原・木野・木村・松尾・山本幸三・山本義治・山下・横井・真野兄弟の各氏12人の男達。その後加わった石原・佐藤・広道の各氏と石田・木野・藤田・真野の各夫人合せて19人が現在のレギュラーである。〈写真 63. 8. 28写す〉

テニスをたのしむのは土・日の午前中

である。まずは6人コートに入って順まわりでストロークとボレーをやり、サーブの練習をすると11時頃になっている。(スマッシュは誰かが「やろか」と言いだした時しかやらない)あとはおたのしみの4ゲームダブルス。同じパターンをきっちり積重ね、腕をみがいてきた。

昨夜はげしい雨、吉川のコートはまずダメと思いきや「やっどる、やっどる」フレンドだけというときも。なにせ雪の残る日も春日坂コートにスコップとベニヤ板を持ち寄ってやりだす仲間ですから。(今年の夏は体力減退のおかたも。トシ?)

はじめてから2～3年たって少し上達、大会に出て勝てるようになってきた。57

年春季大会男子ダブルスBで横井・木村組が優勝、翌年の春季大会男子ダブルスBでは大原・山下組と木野・石田組の決勝戦。当時どれだけ仲間に夢と希望を与えてくれたことか。その後あこがれのAクラスで優勝するものさえ出るようになったのですから。(8月現在、準優勝以上の記録、石田夫人6回・真野兄弟3回)

クラブ対抗戦男子の部はここ3~4年強豪チームに混ってトップクラス(1部)維持。10周年のこの10月23日、亀岡クラブ・サンデー・ウィニングをいずれも3対2で破りついに頂点の座に。記念すべきこの日の出場者は石田・木野・木村・山本義治・山下・横井・真野兄弟の8氏。平均年齢46歳。



12月には忘年会。芸人が多いんですよ。石黒氏・石原氏・広道氏・山下氏・藤田夫人……。いっばいのはいったあとの横井氏の講評も面白い。ジェスチャーいれて仲間の特徴を披露。団体戦?になると石田夫人の活躍はめざましい。全員輪になって踊りだすと八光館の女中さんも目を白黒。飲むばかり、食うばかりというものもあるがこれも芸のうち。「こんな楽し

い忘年会他にありません」そのはずですよね。〈写真 61年忘年会のひとつま〉

5月の初旬と10月の中旬は合宿。2日間みっちりやりますよ、昼も夜も。なに夜もですって?。はいはいしっかり宴会やります。なにせT自然公園の宿泊所内禁酒や消灯が解けたのもフレンドの数年間の実績が実を結んだとか……。ほんとですか?

クラブ5周年記念の神鍋遠征(61年10月)は雨。一日目少し晴れたが二日目来た人残念。

やりますよ、まだまだ。「京都選手権でベスト4入り」「肩を治して亀岡の大会準優勝」「せめてシングルス3回戦へ」「女子もクラブ対抗戦でAクラスに」と実力向上をめざす人もあれば「21世紀の第1日曜にこの仲間全員でクラブ内の試合を」と願う人もいる。稲本先生、クラブのみなさんますますお元気で。

「お父ちゃんの方がよう遊ぶな」塾通いの娘の声を背に聞くこともある。休む日もなく働き続けた先輩を思い浮かべることもある。健康で休日にテニスが楽しめるささやかなしあわせに感謝しつつ。

(M)

Family and Fresh Tennis

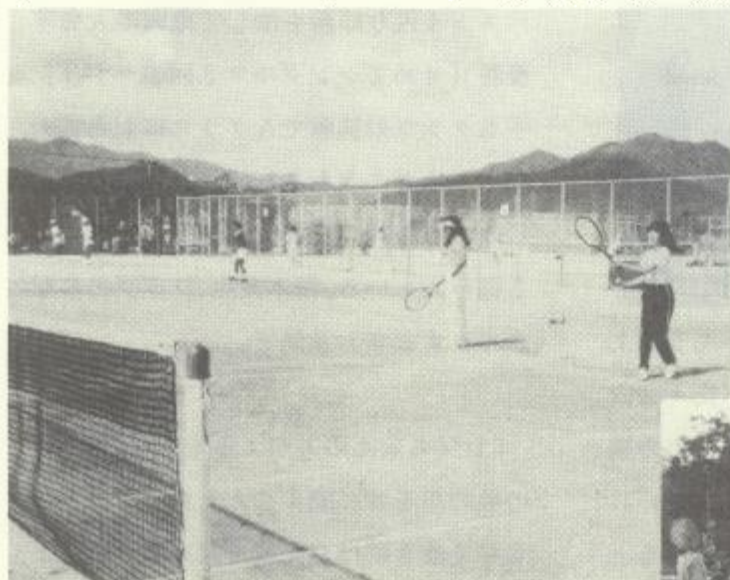
ビギンテニスクラブ

ビギンテニスクラブは、昭和58年度テニス協会が主催された、テニス教室の受講生の有志により設立されたクラブで、クラブ名のごとくビギナーばかりで、また、これからテニスを始めようとする者ばかりで始めたクラブです。

設立当初は、他のクラブの練習方法を見よう見真似でやっているといった状態で、なかなか実のある練習が出来ませんでしたが、現在では、専任のコーチを招き、効率の良い練習を行なっています。

クラブ員の年齢層は、20才～40才と幅広く、Family的な雰囲気の中で、試合に勝つ事より、テニスを楽しみながら体力作りを目的にしており、初心者の入会も大歓迎しています。

今後は、増々テニスの技術向上を図ると共に、テニスを通して人の和を広めて行きたいと考えています。



ク ラ ブ 員 名 簿

会 長 鈴 木 竜 之
 副会長 富 沢 重 信
 会 計 嶋 広 泰 志
 事業部 松 田 博 明
 理 事 佐 々 木 重 和
 コーチ 藪 内 隆 之

草 木 稔
 藤 岡 一 義
 藤 田 典 弘
 沼 田 美 和
 丸 田 正 五
 仲 義 信 寛
 森 達 夫
 田 中 達 夫
 原 田 広 己

堀 井 幸 子
 鈴 木 純 子
 藪 内 享 子
 森 美 和 子
 中 川 善 子
 松 室 利 佳
 岡 山 早 苗
 清 水 美 佐 子
 清 水 知 美





楽しいテニスを

KLテニスクラブ

私達のKLテニスクラブは、昭和58年4月、会員数60名にて発足いたしました。硬式庭球協会開催のテニススクール（月水金コース）が、57年度で廃止になったのを機会に、当時協会の会長をしておられた稲本高昌先生を顧問兼コーチにお願いし、先生のご尽力によりクラブ発足、そして今日に到っております。

練習日は、月～土曜日、午前10時～午後1時まで亀岡運動公園と春日坂のテニスコートにて、また冬場は（1月～3月中頃）市民体育館にて、ほとんど1年中テニスに明け暮れたテニス大好き人間の集りで、会員の殆んどが家庭の主婦です。

家事、育児、仕事とそれぞれに忙しい中、時間のやりくりをつけ稲本先生のきびしくやさしいご指導のもと健康増進、美容維持(?)、ストレス解消のため身体を動かし、汗を流し、これすべて家庭円満のもとと信じつつ、日々練習に頑張っております。

KL行事の一つ、春に開講されます新人募集講習会で、毎年十数名の新会員を迎えます。秋からの練習には、先輩、後輩入り交じっての練習になり若い新しい風が吹き込んでくるようです。先輩に追いつけ、追い越せと頑張っている新人さんの姿に先輩達は刺激され、また練習にも熱が入るといふものです。こうした練習の成果を試すのが、春季、秋季KLテニス大会です。その時々によってA、Bランク分けをしての試合、或いはすべて一緒に、抽選によるペアぎめをしての試合、会長杯めざしががんばります。毎回20組以上のペアが出来上がり、1日かけての試合は、後の祝勝会をも楽しみにワイワイガヤガヤ、ドキドキの試合です。

1年中のきびしい練習の中で、最も楽しみにしているのが夏の合宿です。一泊合宿という事になっていますので、家庭を1日忘れ独身気分の人、夫、子供と共に参加する人、日帰りの人、参加方法はさまざまですが、2日間テニス漬けです。勿論夜は、飲めや歌えの大宴会、これを楽しみに参加する人も、しかし、ふとんに入れば昼間の疲れで、バタンキューの会員です。

稲本先生の「楽しいテニス」のご指導のもと、日焼けも疲れもなんのその、全員心よりテニスを楽しんでおります。



練習風景

昭和63年度 役員名

会 長 舟阪 京
 副 会 長 原田由美子・美馬 如子
 指 導 部 原田由美子・川瀬 明美
 事 業 部 加藤 明子
 会 計 森下 洋子
 会計監査 沢井 典子

主な年間行事

5月 春の新人募集講習会
 5月 春季ランク別講習会
 5月 春季クラブ内大会
 8月 夏の合宿
 9月 秋季ランク別講習会
 10月 秋季クラブ内大会
 12月 総会、反省会、役員改選



昭和63年 夏の合宿(丹波自然運動公園)

KL テニスクラブ 歴代会長

昭和58年度 加藤 明子
 昭和59、60年度 奥村 順子
 昭和61年度 平田志津子
 昭和62年度 真野 善子



昭和63年度 春季クラブ内大会優勝者

過去の成績

年度	大会名	種 目	優 勝	準優勝	3 位
58	春 季	女 子 単			設 菜
	秋 季	女 子 複		奥村、加藤	
59	春 季	男 子 複B 女 子 複B	若林、津川	斉藤、小谷	平田、真野
	秋 季	女 子 複B	平田、真野	一色、本城	
60	春 季	女 子 単 女 子 複B		石黒、尼崎	斉 藤
	秋 季	女 子 単 女 子 複B 壮女子複	原 田 一色、津川		石原、小林 中尾、島元 舟阪、平田
61	春 季	女 子 複A 女 子 複B		石田、斉藤 塩見、島田	石原、小林
	秋 季	男 子 複B 女 子 単 女 子 複B	石原、小林	落合、坂田	原 田 入江、舟阪 清水、藤田
62	春 季	女 子 単 女 子 複B		原 田	入江、藤田
	秋 季	社 会 人 女 子 単 女 子 複B	田畑、楠瀬	原 田	入江、藤田 竹上、大川

木谷 豊とゆかいな仲間



ウイニングの各派代表者会議メンバー

ウイニングテニスクラブ

クラブの概要

- 練習日程とコート
毎週土、日の午後1時～5時
4月から12月まで
運動公園
1月から3月まで
亀岡ハイツなどのハードコート
- 会費と合宿
会費は年会費10,000円
ハードコート使用時のみ練習費
合宿は年1回(日帰り可能地で)
コンパは原則として焼肉パーティ

木谷 豊(代表)	戸澤 睦彦	橋本 ちづ子
宇留野 正樹(理事)	大石 隆久	戸澤 多美子
島田 吉信(事業部)	荻野 和幸	須田 秀美
木下 豊暉(事業部)	八木 孝司	櫻井 美鶴
塚町 基滋(会計)	木内 昭博	小林 完治
八田 茂(書記)	鈴木 正和	畑 末男
赤尾 幸則	小川 博	金田 賢治
橋本 清司	川辺 泰文	野畑 智佳子
田中 久仁彦	赤尾 次代子	千崎 圭二(練習)
塩見 将英	小林 勝子	田中 裕樹(練習)
八木 好夫	山田 節子	
溝行 一之	伊藤 よし子	

ものがたり

テニス王国「ウイニング」のひみつ

今から4年前の秋の夜、ポテト王子とローカル姫が七谷川で忍び会った。

このあやまちが原因となって、ポテト族とローカル族にいさかいが生まれたことは、長い歴史を持つ両民族にとって不幸なことであった。このいさかいを静めるためには、両族の統一しかないと考えたポテト主席宇留野氏（現、協会理事）とローカル首領木谷氏（現、ウイニング代表）は密会を重ね、ついにポテト王小川氏（現協会会長）の英断を得た。両国の統一と新しい国名については、しばらくの間、ポテト族、ローカル族の間でまとまらなかったが、吉川コートの怪人えみでん氏（現亀岡会館副館長）が、ポテカル抗争を収めて「ウイニング」と命名した。その時彼は、「一生に一度ウイニングショットを打ちたい」と叫んだと言う。

こうして生まれた統一王国ウイニングは、現在、木谷イズムで固められた男性支配のように見えるが、じつはさまざまな魔力を持つ女性に支配された女子王国なのである。

とくにローカル姫の流れを組む赤尾、小林、山田をはじめとして、伊藤、橋本らが王国の主力として各大会の上位に名を連ねている。さらに、戸澤、櫻井らもひそかに力をたくわえており、女子王国ウイニングの力は衰えを知らない。

一方、男子は、クラブ対抗において一部上場に在るとはいえ、女子ほど華やかではない。川辺や宇留野は現状を打開すべく、他国との共闘や高校生に手を出しているが、田中裕のごとく他国へ寝返る者もいる。ローカル族の赤尾、溝行、田中ひかりやカニ族の橋本、八木などは頑張っているが、いずれも高齢者である。国力を高めるためには、王国政府の質を高めなければならない。世間は今、小さな政府がもてはやされ、行政改革が叫ばれているがことウイニング王国については大きな政府が求められている。政府要職にあった塩見や木下は企業戦士として動きがとれず、大石、荻野も四次元の世界にいる。木谷政府の充実によって、ウイニング王国のさらなる発展が望まれる。

この王国を軽るんじる者には、かのポテト王子とローカル姫のたたりがあると思え。



ローカル姫の末裔

シルバーからピチピチギャルまで

剛球 テニスクラブ



ビュッ!!うなりを上げるサービス。バシッ!!反撃のリターン、バッシング。息詰まるボレーの応酬。炸裂するスマッシュ。舞台は“メッカ”ウインブルドン——とまあそんな晴れ姿のヒーローを夢みたわけでは決してない。遅まきながら、ポチポチ硬式テニスというものをやってみようではないか、と集まったのがわがメンバー。



ハッスルプレーの
田中代表

59年の協会主催のテニス教室に応募。観るとやってみるとでは大違いの現実に苦悶、苦悶しているうちに、あっという間に教室がなくなってしまった。さらばと受講生がそのままクラブを結成した。従ってメンバーはバラエティに富んでおり、60、50代の実年から10代のピチピチギャルまで、顔ぶれはまことに多士済々!である。

名づけて「剛球」なんと強そうな名前ではあるがさにあらず。59年の誕生ということから、単なる語呂合わせにすぎないのである。早々に“名は実を表す”ようになりたいところ。代表には最

長老ながら、いつでもどこでも一番ハッスルする自称“若い名物男”田中氏。断じて敬意を表して、年の順で選ばれたのではない。

ともあれ、わがクラブは発足のいきさつ、メンバーの顔ぶれからも、気鋭にして俊英の士が相集い、切磋琢磨して勝利の玉杯を傾けようといったクラブとはいささか趣を異にしている。めおと、親子づれのファミリーメンバーが多いせいもあって、練習も和気あいあい。厳しさがいささか欠けているのも特徴?の一つ。しかし腕前のはどは別にして、ボールを打ち、コートをかけめぐる楽しさを満喫することだけは決して人後に落ちない。“ほかにすることないんかいな”といったそしりを尻目に、雪あらば雪をかき出し、ミズレや雨もなんのその。降りしきるなか、濡れネズミになっても平然といった面々ではある。遠出、あるいは合宿にとお忙しい。

ところが、一面では教えられた基本もすっかり忘れて、我流ムキ出しのきれいなきにしもあらず。もう一度個々の欠点をたたき出し、洗い出し、初心に帰って忠実に基本プレーを徹底すること。日ごろの練習方法も根本的に見直し、密度を濃くし

一方では全体のレベルアップを図ることが目下の急務である。また、各大会にも積極的に参加して実戦のカンを養い、競技力を着実に身につけることである。

先輩クラブに追いつき追いこせをスローガンに、まずはそのステップとしてクラブ対抗戦では着実にはい上がり、いずれは互角に戦いたいものである。

負けられません
エイッ!!



63年度メンバー表

	伊藤 正		高橋 知之
	伊藤 直理	理事	竹中 英雄
	沖津 昌美	事業部	竹中 宗子
事業部	勝山 俊和	代表	田中 源蔵
	岸本 昇	指導部	津崎 征男
	木曾 優子		富倉庄二朗
	木下 和久		中村かおり
	久納 英夫		中村 一雄
	斉藤 和代		中村 雅子
理事	四方 寿一	監事	林 政雄
	四方 岳史		林 典子
	清水 守		原 和久
	鈴木 潤子		原 桂子
	鈴木 格夫		人見 昇
指導部	高井 文男		藤村 武
	高井富美代	事業部	三重生善夫
会計	高橋 洋一		三重生貴子
	高橋加代子		宮永 潔司

生涯スポーツはラケットで

Kスリーテニスクラブ

Kスリーテニスクラブは、昭和59年秋、亀岡市体育協会のテニス教室に集まった仲間で作部された。創部時は初心者ばかりで、練習の方法もわからず、教える者もいなかった。又、部活動が12月からで、シーズンオフに入っていたこともあり、部員の参加も回を重ねるごとに減り、春には部員数も半分以下になってしまった。Kスリー存続の最大の危機を迎えたが、各部員の新部員の紹介により、なんとか危機を乗り越える事が出来た。その後、部員の入退部をくり返し、当初の35人から現在は25人（休部者を含む）まで回復した。

練習は毎日曜日の午前中、吉川コートを中心に行なっており、基本練習に重点を置いている。1時間のフリーストローク、その後のボレー・サーブ等を経て、1時間半程を試合練習に当てている。又、昭和62年からは、協会指導部に月1回のコーチ依頼をして技術向上を目指しており、練習内容も実戦的なレベルにまで上って来ており、協会への試合参加も年々増加し、練習成果も表われてきている。練習参加率も70%を越えており、コート1面では手狭になって来ている状態で、より効率的な練習を今後の課題としている。



部員の平均年齢は30代後半で中年クラブの域に入っており、ボール集めや、ベンチに腰かける時など“ヨッコラショ”という声がどこからともなく聞えてくる。男女の構成はほぼつり合いがとれており、練習参加は男子の方が良い。技術レベルは、男子の場合大差はなく初・中級クラスといった所で、女子では初心者、初級クラスが多い。

Kスリーの年間行事としては、昭和62年春からKスリー杯（シングルス）が行なわれており、クラブ対抗戦へのメンバー選考を兼ねている。この秋からはKスリー杯（ダブルス）も予定されている。又、初の合宿がこの夏、周山京北町で行なわれ（写真）焼肉パーティもあり、家族連れの参加者にも好評であった。年末には女性待望の忘年会があり、カラオケのうまさと酒の強さは男性陣を圧倒している。

現在、Kスリーは協会内で男女共、最下位リーグに属しており、上位リーグへの昇格が当面の目標である。半年先行して創部された剛球クラブに追いつき、追い越す為にも現在の練習参加人員を維持し、練習内容を工夫して行く事が今後のKスリー発展に大切である。

Kスリーテニスクラブの名称は、テニス教室が春日坂コートで行われたことにより、KYOTO、KAMEOKA、KASUGAZAKAの頭文字“K”を取り、Kスリーとしたものであり、部のマークも作り、練習ボールに使用している。

(年間主要行事)		(会 費 等)		
春	Kスリー杯(シングルス)		金 額 (円)	備 考
夏	合 宿	会 費	年額 6,000	1月、7月に分納
秋	Kスリー杯(ダブルス)	入 会 金	1,000	入会時に必要
冬	総会、忘年会	1日会員	500	1日入会時に

理想のテニスクラブをめざして!!

亀岡エバーグリーン テニスクラブ

亀岡エバーグリーンテニスクラブは昭和58年に下矢田町の君塚団地の人々を中心に結成され、昭和59年に亀岡市テニス協会へ加盟して現在に至っている。

英国の伝統あるローンテニスのグリーンを入れて、大都会である京都市の郊外都市として、また、田園都市としての亀岡市にちなんで「亀岡エバーグリーンテニスクラブ」と発足当時のメンバーでクラブ名を決定した。発足時は夫婦ペアでの入会者が主で、現在もメンバーの大半が夫婦で入会している。

練習は毎週、水、金、土、日曜日の4日で、水、金、土曜日は、下矢田町のコミュニティセンターのテニスコートで、日曜日は吉川町にある亀岡市運動公園のテニスコートで、いずれも午前中に実施している。



亀岡市テニス協会では団体戦は男女共に二部リーグに所属し、19名の少い部員数ではあるが戦力では上位のレベルを確保している。

また、亀岡市テニス協会主催の各種大会においても当クラブからシングルス戦、ダブルス戦において優勝者を出し、大いに活躍している。

クラブ規約の中に「本クラブはテニスを通じて楽しく充実した余暇の活用をしようとするテニス愛好者の集まりであり……」とある通り、現在、テニス技術の追究はもとより、会員相互の親睦につとめ社会人クラブとしての理想を求めて活動している。



和気あいあい時には楽しい
パーティーも……

私にとってテニスとは……

クラブの方々にテニスへの思いを一言ずつ書いてもらいました。

○毎土日、無心に汗をかくテニス。緑の中でリフレッシュなり。 波多野 博

○技術も心もいつも初心者。今年こそは……で何年過ぎたことか。これからも頑張ります。 波多野けい子

○心身共に健康であるためにテニスを続けてゆきたいと願っています。安田こづゑ

○テニスをやっている時はすべてを忘れられる。仕事も家庭も……。今青春がある。

浅野美好

○アレルギー性鼻炎の事情で練習できるのは秋と冬。これからが私の季節、頑張ります。 浅野景子

○四十の手習いですが、テニスをしている時は青春を取り戻した様な気分です。

中尾宏明

○テニスを始めてから生活に楽しみが生まれました。エバーの名の様に健康でいつまでも続けられたら……と思っています。

中尾信子

○体力がだんだん下向線であるが日頃の心がけでなんとか年齢以上の動きが出来る様に頑張っていきたい。現在の目標は自分の苦手なプレイの克服とテニスを通して人の和を大切にすることである。

大山 肇 恵美子

○現状報告！人生の半分程テニスをして、現在中休み状態です。 田中由美子

○炎天下も、凍りつく朝も、休日ともなればコートに呼びよせられるように家を出はじめて幾年か。家庭も崩壊せず、今の健康もそのおかげかと感謝しつつ、まだまだ球を追うことになりそうです。

山西尚徳 敬子

○㊦れいに振舞って、㊦ざすは親睦、㊦いわけ……進歩?! ㊦めおかエバーグリーン

竹原如是

○テニスを通じて、世界に広げよう、友達の輪。

竹原 彰 季子

○青空の下、テニスをするのが好き、一球のナイスボールに誘われて、やめられないテニス。 池田 勇 美穂子

あいまいショットのアドバンス

アドバンステニスクラブ

テニス協会10周年まことにおめでとうございます。アドバンスTCの紹介をさせてもらいます。

1. 役員、メンバーの紹介

現在登録されているメンバーは、男子13名、女子5名の合計18名です。全員が既婚者の成年(?)パワーのクラブです。

役員紹介：

会長	小谷俊英 (酒好き、XX好き)
副会長兼亀岡市テニス協会理事	河原林成行 (酒嫌い、X嫌い)
会計	原口誠 (酒好き、XX好き)
指導部	斉藤康雄 (同上)
事業部兼亀岡市テニス協会事業部	清水 侑 (ほぼ同上)

2. 設立の動機

当クラブは小谷美智子さん(通称:ママ)を中心に設立されました。そのママによると、設立のいきさつは次のようです。「町内のバレーボールをやっていたが、これはトシがいても続けられるスポーツではない。何か一生続けられるものはないかしらと探しているとき、八木の橋の上からふと目に入ったのがテニスでした。善は急げとばかり、お友達と二人でラケットを買い、始めました。でも、見るとするとは大違い。あんなに簡単そうに見えたテニスが……。たまたま教育委員会の方の紹介で口から口へと伝わり、仲間が集まってきました。できるだけ夫婦で、そしていつでも友達をつれてきて楽しめるように……。そんなことからテニス愛好会として発足しました。昭和57年、愛好会の頭文字Aをもじってアドバンス(Advance; 前進、進歩)と名付けました。」とのこと。ちなみに、Advanceには「(女に)言い寄る」という意味もあるような……ン

3. 活動状況

練習……冬季以外は、毎週土、日曜日午後、八木運動公園にて。

内容は、トシと体力に合ったまあまあコースでやっています。

2時間程度の基本練習と、あとは試合形式です。良い練習方法があれば、教えて下さい。

合宿……年に一度夏季に一泊二日で行なっている（今年は、0泊二日でした）。

本当の目的は、夜の部にあるらしい。

アフターテニス……以前は練習後、コート横の川原でよくビアパーティをやっていた。今もこの伝統(?)は受け継がれ、誰からともなく花見だ、何だといっってはこういう機会だけはよく持たれている。要するに、そのためのクラブなのか……?

実力……そんなことばかりしているから、クラブ対抗戦でも運のみでやっとCリーグへ上れたところです。特に男子は主要大会でベスト4に入れない状態です。だからこういう機会が増えるのかも。

ただし、女子は男子のこういう状態のおかげ(?)でけっこう強い人が多い。

4. クラブの特色

以上でおわかりのように、酒と遊びが大好きで、それ以上にテニスが好きで連中が集まっています。ほかに楽しみを知らないとも言えますが……。男女とも「もっともっと強くなりたい」と思ってやっています。交流会(試合)なども含めて今後ますますよろしく申し上げますとともに、テニス協会のますますの発展をお祈りします。

クラブ員紹介(役員以外)

金内京治、藤川道夫、尼崎省二、福島良助、尾崎義昇、原田悦雄、藤村俊明、山本和雄、小谷美智子、清水香津子、斉藤泰子、福島充子、松井裕子



明日に架けるテニス部の若人たちへ

京都文化短期大学 硬式テニス部

京都文化短期大学硬式テニス部の設立の時期は、昭和58年で今年で6年目に入りました。2つ上の先輩の時はあまり練習もなく、活動状況は不十分でしたが、その後輩から練習もさかんになり試合などにも活発に動くようになりました。

そして、京都学生庭球連盟に加入したのち関西学生庭球連盟に加入するなど積極的にいろいろな連盟に参加するようになりクラブらしくなっていました。

構成員として2回生が7名、1回生が5名、また大学から2名と計14名で活動しています。現在の活動状況としましては、先輩方のあとをつぎ今私たちは毎週4回の練習（月・水・木・金）を行なっています。

人数も去年より多くなり練習内容も増えいっそう活発に動くようになりました。

また1回生に経験者が多く私たちとしても練習になりますしがんばらなければならぬという気持ちになっています。試合前などは土・日なども練習を入れ、試合を中心とした練習を行なっています。私たちのクラブの特色として1回生・2回生関係なく対等に練習を行なっていることです。



また夏休みを利用して大学合同の夏合宿を行ないます。10日間くらいの合宿ですが集中的に練習しますのでこの時期にかなり伸びてくる人も多いようです。今後の展望として1回生に経験者が多いため練習内容も変わっていくだろうと思います。

今年の1回生はかなり熱心に練習しているので、これからどんどん伸びることでしょう。抱負は私たち2回生は初心者の集まりで練習内容もいまいちだっと思いますが、これからは経験豊富な1回生の意見を取り入れながら今までとは違った練習をどんどんしていきたいと思っています。

部 員 の 紹 介

高橋 英子 入江 真木子

前田 依朱美 木村 佳美

杉谷 美和 岩崎 詩子

石上 克子 山田 小百合

西射 尚美 牧野 裕美

国府 貞美

高野 久仁子



めざせ インターハイ!!

京都府立亀岡高等学校 硬式テニス部

テニス部の歴史

昭和59年度 亀岡市の主催によるジュニアテニススクール（夏休み中）に一年生女子（8名）が参加。終了後、毎土曜日に練習会を実施。亀岡高校の生徒会にも同好会の設立を嘆願。

昭和60年度 ジュニアスクールのメンバーを中心に同好会の設立。春日坂を中心に活動を開始。（亀岡市には、学校の事情を考慮していただきコートの日間貸し等の配慮を願った。）

口丹波高等学校テニス大会 団体戦男女2位

部長	田中誠樹	顧問	山下尚三
	仲村香葉		川口靖夫
			土井美春

昭和61年度 同好会から部活動に昇格し、生徒会予算を獲得出来るようになる。（ボール15ダース分）

口丹波高等学校テニス大会 団体戦男女2位

近畿大会京都府予選本戦出場1名

部長	田中誠樹	顧問	山下尚三
	牧野裕美		川口靖夫
			土井美春

昭和62年度 60年度から引き続き亀岡市の絶大なる協力を得、基本的には火曜日と金曜日の4時から5時まで、木曜日の2時30分から5時まで、春日坂テニスコートの使用をさせていただいた。

口丹波高等学校テニス大会 団体戦男女優勝

個人戦男女単複優勝

近畿大会京都府予選本戦出場4名

部長 西田 修
木谷奈緒

顧問 山下尚三
川口靖夫
川邊泰文

昭和63年度 亀岡高校農場跡地に新グラウンドの完成とともに、テニスコート
2面も完成。フランチ+イズが出来たことにより、本校軟式庭球
部・亀岡市にも迷惑をかけることなく練習が出来るようになった。

口丹波高等学校庭球大会 団体戦男女優勝

部長 吉野利孝
瀬戸弓子

顧問 山下尚三
稲葉芳成
川邊泰文

以上、簡単に亀岡高校のテニス部の歴史を追ってみました。昭和60年に同好会が
出来てから、今年で4年目になり、また、テニスコートが新設されたことにより、
今後ますます活動も活発になっていくと思います。

亀岡市で行なわれる試合は、社会人との対戦になり百戦練磨の人には遠く及ばな
いところですが、高体連の試合に於いては、技術的にも体力的にも見劣りするところ
はなく、互角の状態にあります。あと、ゲームの進め方、ゲームポイントのとり
方等がわかってくれば上位ランクにあがれると思われれます。

現在、男子14名（1年5名、2年9名）女子31名（1年20名、2年11名）合計45
名で活動を行っており、コートは非常に狭く感じられますが活気に満ちています。

今後とも各クラブの皆様には大変お世話になるとと思いますが、よろしくお願いい
たします。



目指すはパワー&スピードテニス! アフターファイブ集団

にのうみテニスクラブ

設立のいきさつ

我クラブは、亀岡の数多くのテニスクラブのなかでも、記念すべき協会発足10年目の昭和63年に誕生した最も新しいクラブです。設立のいきさつは、クラブ代表の西垣行雄氏（現協会理事長）の亀岡から園部への転勤がきっかけとなって両職場でのアフターファイブテニスにあきたらない連中が意気統合し、よりレベルの高いテニスを目指そうとしたことに始まります。

活動状況

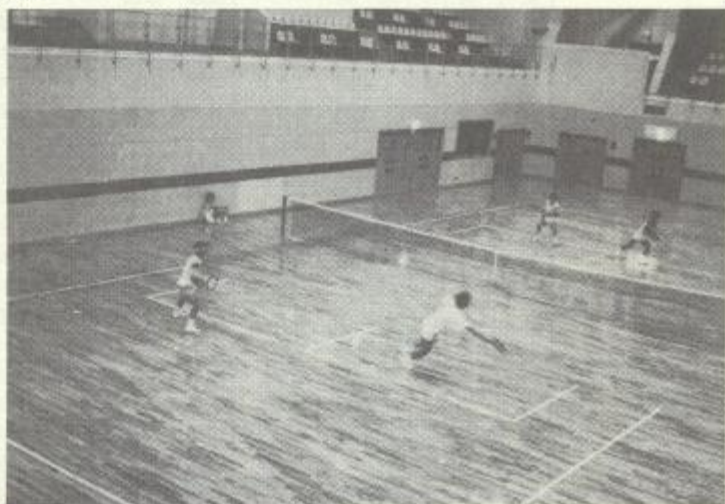
現在、クラブ員は亀岡、園部などに勤務する真面目な（？）公務員とその美人妻で構成されており、わずか10名という少数精鋭ですが、その分まとまりはすばらしく、何かの大会のたびに亀岡駅前の某酒処に集まっては、自分勝手なテニス論をぶつけあっています。このため、我クラブでは、宴会部長は何にも勝る重要なポストとして認識されています。練習は、毎週金曜日の夜に市民体育館を利用して行っていますが、平均年齢がアンダーサーティということやいわゆる‘花キン’にテニスをするという感動すべき自負心もありまして、その内容はかなりハードで、毎回少々のビールでは水分補給できないくらいの汗を流しています。また、府内各地の大会に積極的に参加することを心がけており、いろいろなテニスを経験することでレベルアップを図ろうとしています。

今後の抱負

体育館の速いサーフェスで練習していることから、パワフルでスピーディなテニスに取り組んでいるところですが、その実力（？）ができるだけ早く発揮されるよう、各大会ではサーブ&ボレーなどのアグレッシブなテニスにどんどんチャレンジしていきたいと考えています。また、クラブ員間やその家族間の親睦にも努めて、息の長いクラブ活動をこの‘にのうみ’の地で展開していきたいと考えています。

クラブ員の紹介

現会長は、円熟のジミー・ニシガキ、その他には、やたらとネットへでたがるバット・コサカ、フォアハンドで押しまくるイワン・マブチ、オールラウンドなステファン・タナカ、パワーストロークのアンドレ・ニシダ、堅実なマッツ・サトウ、やわらかいタッチのミロスラフ・イノウエ、いつも冷静なヨアキム・タナカ、そしてガブリエラ・ニシガキとマニュエラ・コサカの10名ですが、2～3年後には亀岡の上位ランクに進出してくるものと期待されます。



過去の大会記録

年	大会名	種目	優勝	準優勝	三位
53	平和祭	男子複	稲本・森本(亀ク)	西田・大西(亀ク)	八木・伊藤(ボテ)
		女子複	稲本・前田(亀ク)	西田・大西(亀ク)	川勝・伊藤
	硬式 =会長杯=	男子単	森本(亀ク)	西田(亀ク)	林(学大) 高橋(学大)
		男子複	三宅・大槻(亀ク)	富永・西村(ニチ)	上島・和田(ボテ)藤川・酒井(スク)
		女子複	大沢・橋本(学大)	稲本・大西(亀ク)	森本・伊藤(亀ク)今井・法貴(ボテ)
54	春季	男子単A	森本(亀ク)	永岡(学大)	木下(亀ク)林(学大)
		男子単B	上杉(サン)	吉田(サン)	柳原(ロー)西村(ニチ)
		男子複	楠田・浜田(ニチ)	和田・上島(ボテ)	横山・浦(ニチ)
	平和祭	男子複	森本・森(亀ク)	稲本・木下(亀ク)	宇留野・八木(ボテ)愛須・高橋(学大)
		女子複	日下部・藤井(スク)	後藤・松山(スク)	西田・大西(亀ク)松山・片山(サン)
秋季	男子単	西田(亀ク)	永岡(学大)	森本(亀ク)木下(亀ク)	
	男子複A	田村・大槻(亀ク)	稲本・稲本(亀ク)	林・中村(見晴)三宅・吉田(サン)	
	男子複B	並河・中野(スク)	中野・田中(ロー)	木村・松尾(スク)川見・小川(ボテ)	
	女子複	前田・大西(亀ク)	日下部・藤井(スク)	森本・森(亀ク)三宅・小林(スク)	
55	春季	男子単	西田(亀ク)	森本(亀ク)	八木(ボテ)木下(亀ク)
		男子複A	愛須・池田(学大)	梅田・林(学大)	田村・俣野(亀ク)大槻・大原(亀ク学職)
		男子複B	服部・四方(クロ)	小川・川見(ボテ)	塚町・柳原(亀ク)木村・松尾(スク)
		女子複	藤井・小林(スク)	三宅・福島(スク)	前田・大西(亀ク)松山・後藤(スク)
	平和祭	男子複A	森本・西田(亀ク)	小原・猪原(見晴)	林・上西(学大)大西・森(亀ク)
		男子複B	小川・満行(ボテ・ロー)	小川・川見(ボテ)	林・中村(見晴)塚町・柳原(ロー)
		女子複A	前田・大西(亀ク)	稲本・奥村(亀,ロー)	森本・村上(亀ク)後藤・藤井(サン)
	秋季	男子単	西田(亀ク)	木下(亀ク)	加藤(学大)
		男子複	林・梅田(学大)	木下・桂(学大)	田村・三宅(亀ク)
		女子複	三宅・小林(ロー)	後藤・藤井(サン)	森本・村上(亀ク)
56	春季	男子単	林(学大)	森本(亀ク)	加河(サン)
		男子複A	増井・斉藤(ボテ)	八田・田村(亀ク)	宇留野・小川(ボテ)
		男子複B	平野・山路(学大)	畑・林(エン)	岩田・大山(亀ク)
		女子複A	大西・村上(亀ク)	福島・藤井(スク)	若島・赤尾(ロー)
	平和祭	男子複A	川辺・木谷(ロー)	梅田・田中(ロー)	八田・西田(亀ク)
		男子複B	設楽・森下(一般)	山田・藤井(サン)	麻田・山畑(湯之)
		男子複C	石川・木下()	石黒・真野()	土橋・中西(ボッ)
		女子複A	福島・藤井(ロー)	三宅・大西(ロー)	大西・前田(亀ク)
		女子複B	川勝・畑中(KS)	桜井・竹内(ボテ)	谷本・伊藤(ボテ)
	秋季	男子単	加藤(学大)	加河(サン)	森本(亀ク)
男子複		梅田・木谷(ロー)	脇村・永田(学大)	三宅・八田(亀ク)	
女子単		稲本(亀ク)	大西(亀ク)	森本(亀ク)	
57	春季	男子単	川辺(ロー)	立石(学大)	加河(サン)
		男子複A	林・加藤(学大)	上西・桂(学大)	西田・森本(亀ク)
		男子複B	木村・横井(フレ)	石野・山内(KS)	山下・植村(府庁)
		女子単	前田(亀ク)	大西(亀ク)	樹山(ボッ)赤尾(ロー)
	平和祭	男子複	大西・山田(ロー)	森本・森(亀ク)	赤尾・山田(ロー)
		男子複	木谷・川辺(ロー)	林・木下(ロー)	西田・木下(亀ク)
		女子複	前田・三宅(亀ク)	大西・森本(亀ク)	藤井・若島(ロー)
社会人	男子単	川嶋(瑞波)	加河(サン)	吉田(明治)	
	女子単	村上(亀ク)	樹山(ボッ)	福島(ロー)	
秋季	男子単	加河(サン)	有吉(亀ク)	木下(亀ク)	
	男子複A	木谷・木下(ロー)	森本・森(亀ク)	三宅・猪原(見晴)	

年	大会名	種目	優勝	準優勝	三位
57	秋 季	男子複B	佐藤・加藤(府庁)	安川・小林(ボッ)	横山・田辺(ニチ)
		女子単	村上(亀ク)	前田(亀ク)	小林(ロー)
		女子複	藤井・君島(ロー)	山本・柳橋(イチ)	西田・後藤(亀ク)
58	春 季	男子単	川辺(ロー)	加河(サン)	森本(亀ク)
		男子複A	木谷・川辺(ロー)	木下・有吉(亀ク)	山路・立石(学大)
		男子複B	大原・山下(フレ)	石田・木野(フレ)	中西・段本(ボッ)
		女子単	前田(亀ク)	村上(亀ク)	設楽(KL)
		女子複	前田・三宅(亀ク)	大西・森本(亀ク)	藤井・君島(ロー)
	平和祭	男子複	西垣・小島(府庁)	江見・川辺(ウイ)	有吉・木下(亀ク)
		女子複	前田・三宅(亀ク)	藤井・小林(ウイ)	大西・村上(亀ク)
	社会人	男子複	大板・大板(亀ク)	稲本・山田(亀ク)	小川・大道
		男子単	加河(サン)	西田(亀ク)	川辺(ウイ)
	秋 季	女子単	前田(亀ク)	三宅(亀ク)	村上(亀ク)
男子単		加河(サン)	有吉(亀ク)	川辺(ウイ)	
男子複A		森本・森(亀ク)	木谷・小越(ウイ)	真野・真野(フレ)	
男子複B		豊開・近藤(見晴)	中村・江村(見晴)	段本・近藤(ボッ)	
女子複		小林・藤井(ウイ)	奥村・加藤(KL)	上杉・大山(サン)	
59	春 季	男子単	加河(サン)	山路(学大)	西田(亀ク)立石(学大)
		男子複A	畑・小島(ミッ)	川辺・木谷(ウイ)	森本・森(亀ク)立石・佐藤(学大)
		男子複B	小林・安川(ボッ)	斉藤・小谷(KL)	山西・中尾(サン)永田・塩見(ウイ)
		女子単	三宅(亀ク)	大西(亀ク)	山田(ウイ)白木(亀ク)
		女子複A	藤井・小林(ウイ)	前田・三宅(亀ク)	大西・森本(亀ク)上杉・大山(サン)
		女子複B	若林・津川(KL)	西山・三宅(見晴)	平田・真野(KL)井本・高木(府庁)
	平和祭	男子複	加河・手島(サン)	西田・三宅(亀ク)	中村・湯浅(一般)
		女子複	三宅・白木(亀ク)	石田(フレ)斉藤(KL)	伊藤・山田(ウイ)
	社会人	男子単	川嶋(瑞波)	今井(見晴)	岡本(瑞波)
		女子単	北村(見晴)	大西(亀ク)	森本(亀ク)
秋 季	男子単	有吉(亀ク)	森本(亀ク)	西田(ミッ)西田(亀ク)	
	男子複A	畑・小島(ミッ)	真野・真野(フレ)	井上・田村(亀ク)西田・小林(エン)	
	男子複B	八木・塩見(ウイ)	中西・三宅(ボッ)	田中・近藤(ボッ)小林・段本(ボッ)	
	女子単	白木(亀ク)	森本(亀ク)	奥田(見晴)石田(フレ)	
	女子複A	前田・赤尾(亀・ウイ)	小林・山田(ウイ)	加河・山西(サン)君島・八田(亀ク)	
	女子複B	平田・真野(KL)	一色・本城(KL)	稲荷・中沢(ボッ)田井・橋本(ボッ)	
	混合複	森本・森本(亀ク)	川辺・川辺(ウイ)	大山・大山(サン)宇留野・小林(ウイ)	
	60	春 季	男子単	立石(学大)	西田(亀ク)
男子複A			小島・畑(ウイ)	西田・森本(亀ク)	西田・山本(ウイ)手島・保野(サン)
男子複B			段本・田中(ボッ)	石黒・山本(フレ)	横田・浜田(ニチ)河村・堀江(サン)
女子単			前田(亀ク)	石田(フレ)	三宅(見晴)斉藤(KL)
女子複A			赤尾・藤井(ウイ)	大西・前田(亀ク)	森本・白木(亀ク)君島・八田(亀ク)
女子複B			樹山・松山(ボッ)	石黒・尼崎(KL)	井上・西田(ニチ)田中・中沢(ボッ)
平和祭		男子複	畑・小島(ウイ)	中村・湯浅(一般)	西田・森本(亀ク)
		女子複	石田・斉藤(フレ)	大西・八田(亀ク)	伊藤・山田(ウイ)
社会人		男子単	加河(エバ)	岡本(瑞波)	川嶋(瑞波)
		女子単	山下(サン)	石田(フレ)	伊藤(ウイ)
秋 季	混合複	木谷・小林(ウイ)	有吉・前田(亀ク)	森本・森本(亀ク)小越・伊藤(ウイ)	
	男子単	加河(エバ)	手島(サン)	西田(亀ク)横井(フレ)	
	男子複A	森本・森(亀ク)	畑・小島(ウイ)	西田・小林(ウイ)木谷・宇留野(ウイ)	
	男子複B	島田・瀬田川(府庁)	河村・堀江(サン)	中西・三宅(ボッ)前多・前野(ニチ)	
	女子単	原田(KL)	加河(エバ)	石田(フレ)西垣(サン)	
	女子複A	小林・赤尾(ウイ)	山田・柳橋(ウイ)	森本・君島(亀ク)三宅・西山(見晴)	
	女子複B	上杉・広瀬(サン)	山口・段本(ボッ)	石原・小林(KL)小西・佐野(ボッ)	
	社女子複	一色・津川(KL)	後藤・西田(亀ク)	中尾・島元(KL)舟坂・平田(KL)	

年	大会名	種目	優 勝	準 優 勝	三 位
61	春 季	男子単	加 河 (エバ)	中 村 (ポッ)	森 本(亀ク) 横井(フレ)
		男子複A	川辺・中村(ウィ・ポッ)	有吉・森 (亀ク)	君島・木下(亀ク)小島・畑(ウィ)
		男子複B	清水・原田(アド・KL)	原口・福島(アド)	栗山・西本(Kス)福島・堀江(サン)
		女子単	三 宅 (見晴)	三 宅 (亀ク)	上 杉(サン) 橋本(ウィ)
		女子複A	赤尾・小林(ウィ)	石田・斉藤(フレ, KL)	加河・山西(エバ)君島・八田(亀ク)
		女子複B	間瀬・松田(文短)	塩見・島田(KL)	橋本・前林(ポッ)石原・小林(KL)
	平 和 祭	男子複	川辺・中村(ウィ, ポッ)	加河・玉置(エバ)	嶋木・嶽山(学大)
		女子複	赤尾・小林(ウィ)	大西・三宅(亀ク)	伊藤・福島(一般)
	社 会 人	男子単	吉 田 (船井)	加 河 (エバ)	竹 内 (船井)
		女子単	藤 井 (サン)	石 田 (フレ)	三 宅 (見晴)
	会 長 杯	混合複	田中・赤尾(ウィ)	木谷・小林(ウィ)	森本・森本(亀ク)
		男子単	加 河 (エバ)	西 田 (亀ク)	大 山 (エバ)
	秋 季	男子複A	真野・真野(フレ)	畑・小島(ウィ)	木野・石田(フレ)
		男子複B	八木・橋本(ウィ)	落合・坂田(KL)	石原・広道(フレ)木下・島田(ウィ)
女子単		藤 井 (サン)	橋 本 (ウィ)	上 杉(サン) 原田(KL)	
女子複A		大西・三宅(亀ク)	加河・山西(エバ)	三宅・西山(見晴)八田・君島(亀ク)	
女子複B		石原・小林(KL)	小島・森 (ポッ)	入江・舟阪(フレ, KL)清水・藤田(KL)	
男子単		榎 屋 (学大)	加 河 (エバ)	井筒(エバ)有吉(亀ク)	
春 季	男子複A	大山・井筒(エバ)	真野・真野(フレ)	嶋木・嶽山(学大)	
	男子複B	中西・三宅(ポッ)	島田・木下(ウィ)	松下・田中(さつ)尼崎・藤村(アド)	
	女子単	君 島 (亀ク)	原 田 (KL)	伊藤(ウィ)藤井(サン)	
	女子複A	赤尾・小林(ウィ)	井上・杉田(文短)	大西・三宅(亀ク)君島・君島(亀ク)	
	女子複B	鈴木・竹中(剛球)	段本・小島(ポッ)	田井・佐野(ポッ)入江・藤田(KL)	
	男子複	手島・俣野(サン)	嶋木・嶽山(学大)	榎屋・田村(学大)	
平 和 祭	男子複	大西・三宅(亀ク)	伊藤・橋本(ウィ)	井上・杉田(文短)	
	男子単	中 村 (ポッ)	岡 本 (船井)	嶋 木 (学大)	
社 会 人	女子単	三 宅 (見晴)	原 田 (KL)	井 上 (文短)	
	混合複	森本・森本(亀ク)	三宅・三宅(見晴)	俣野・藤井(サン)	
秋 季	男子単	西 田 (亀ク)	榎 屋 (学大)	横井(フレ)木谷(ウィ)	
	男子複A	手島・俣野(サン)	川辺・中村(ウィ, ポッ)	有吉・木下(亀ク)宇留野・千崎(ウィ)	
	男子複B	前多・前野(ニチ)	松下・田中(さつ)	西本・中村(Kス)竹原・山崎(Kス)	
	女子単	井 上 (文短)	斉 藤 (アド)	杉田(文短)橋本(亀高)	
	女子複A	大西・三宅(亀ク)	赤尾・小林(ウィ)	三宅・西山(見晴)森本・八田(亀ク)	
	女子複B	田畑・楠瀬(KL, 見晴)	西村・大黒谷(短・学)	入江・藤田(KL)竹上・大川(KL)	
室 内	男子複	真野・真野(フレ)	西田・佐藤(にの)	俣野・北村(サン)	
	女子複	赤尾・小林(ウィ)	伊藤・桜井(ウィ)	斉藤・石田(アド, フレ)	
63	平 和 祭	男子複	(雨 天 中 止)		
		女子複	小坂・馬淵(にの)	川辺・中村(ウィ, ポッ)	手島・俣野(サン)
龜 岡 市 オ ー プ ン 会 長 杯	女子複	赤尾・小林(ウィ)	上杉・藤井(サン)	斉藤・石田(アド, フレ)	
	男子単	中 村 (ポッ)	榎 屋 (学大)	小 坂 (にの)	
	女子単	三 宅 (見晴)	原 田 (KL)	桜 井 (ウィ)	
	混合複	森本・君島(高・亀)	俣野・藤井(サン)	真野・石田(フレ)	

(注) ()内所属クラブ略称 亀ク=亀岡テニスクラブ(以下テニスクラブ略) ポテ=ポテト 学大=京都学園大学 ニチ=ニチコン スク=スクール サン=サンデー ロー=ローカル 学職=京都学園大学職員
 クロ=クローバ Kス=KSGC エン=ウイークエンド 湯之=湯之花 イチ=イチゴミルク
 フレ=亀岡フレンド ポッ=ポップコーン ウィ=ウイニング ミッ=ミックス エバ=亀岡エバグリーン
 アド=アドバンス Kス=Kスリー 文短=京都文化短期大学 亀高=亀岡高校 にの=にのうみ

クラブ対抗戦成績

		順位	一部リーグ	二部リーグ	三部リーグ	四部リーグ
58年	男子	1	亀岡ク	学園大	フレンド	
		2	見晴	ウイニング	さつき	
		3	サンデー	府庁	ビギン	
		4	ウィークエンド	ポップコーン		
	女子	1	ウイニング	K L	サンデー	
		2	亀岡ク	フレンド	見晴	
3		府庁	ポップコーン	ウィークエンド		
59年	男子	1	亀岡ク	フレンド	ポップコーン	ミックス
		2	見晴	ウイニング	さつき	② ダンディ
		3	学園大	ウィークエンド	ビギン	② ホワイト
		4	サンデー	府庁		
	女子	1	亀岡ク	サンデー	見晴	
		2	ウイニング	府庁	ウィークエンド	
3		K L	フレンド	ポップコーン		
60年	男子	1	亀岡ク	サンデー	府庁	剛球
		2	学園大	ウイニング	さつき	Kスリー
		3	フレンド	ウィークエンド	ビギン	ニチコン
		4	見晴	ポップコーン		
	女子	1	ウイニング	見晴	エバーグリーン	
		2	フレンド	ポップコーン	剛球	
3		亀岡ク	ウィークエンド	ニチコン		
4				Kスリー		
61年	男子	1	亀岡ク	ウイニング	ポップコーン	エバーグリーン
		2	フレンド	見晴	剛球	アドバンス
		3	学園大	府庁	さつき	亀岡高
		4	サンデー	ウィークエンド	ビギン	Kスリー
		5				ニチコン
	女子	1	ウイニング	エバーグリーン	剛球	文化短大
2		亀岡ク	ポップコーン	Kスリー	サンデー	
3		見晴	ウィークエンド	ニチコン	亀岡高	
4		K L				
62年	男子	1	ウイニング	サンデー	エバーグリーン	亀岡高
		2	亀岡ク	見晴	さつき	アドバンス
		3	フレンド	府庁	剛球	Kスリー
		4	学園大	ポップコーン	ビギン	ニチコン
	女子	1	ウイニング	K L	亀岡高	
		2	見晴	剛球	文化短大	
3		亀岡ク	ポップコーン	ニチコン		
4		エバーグリーン	Kスリー	サンデー		

亀岡市テニス協会設立10周年記念事業実行委員会の組織

委員長 西田利之																					
式典部会				エキジビジョン部会				記念誌部会													
福本高昌	木谷豊	田村弘文	宇留野正樹	三宅吉祥	西垣行雄	小林久幸	木野一弘	竹中英雄	豊開庄一	坂本憲一	侯野忠雄	真野義久	松下伸顕	佐々木重和	舟阪京	河原林成行	松下清次	竹原康造	大山肇	樹井裕	石上克子

編集後記

亀岡市テニス協会は、今年で10年を迎えました。10年の節目にあたり、2・3年前から記念事業の内容を検討し、その事業のひとつとして記念誌を発行することになりました。編集するにあたり、最初は10年間の取り組みぐらい簡単にまとめられると思っていましたが、いざ作業にかかると、設立当初の活動等資料は残していただいておりますが、それでもまとめるとなると、当時の苦労を強く感じるとともに、10年は歴史であることを思いました。今後、また何年か先に協会として記念誌等をつくられることがあると思いますが、今回の記念誌の資料を参考にされるとともに、これから協会の中で役員につかれる場合には、活動資料を残し、次の代に引き継がれることを、今回担当した者として希望します。

なお、今回の記事の中で、記念誌担当一同努力したつもりですが、誤字脱字及び記録まちが

いがあるかと思いますが、おゆるし願いたいと思います。

最後になりましたが、記念誌編集にあたり、貴重な資料提供やご寄稿いただきました各位に厚く感謝申し上げます。

10周年記念誌

発行日 昭和63年11月

発行者 亀岡市テニス協会設立
10周年記念事業実行委員会

印刷所 三 究 プ リ ン ト

亀岡市古世町3丁目9-6

TEL(07712)3-7339

工場建設設計・施工 空圧・油圧機械・工業機械設計施工
水処理設備設計・施工 製作金物・各種メンテナンス

株式会社 光製作所

(本社) 亀岡市米野町17 ☎(07712)2-0796 (FAX) (07712)4-7139
(工場) 亀岡市宮前町神前小倉山15-1 ☎(07712)6-1919 (FAX) (07712)6-3591

COFFEE HOUSE

ベル

亀岡市大井町土田2丁目1-28

TEL 3-3112

爽快ノ
テニスでリフレッシュ……
澄みきった空気と充実した設備
(全天候型6面)

京都レクリエーションセンター 亀岡ハイッ

亀岡湯の花温泉
07712-6-2345

祝 10周年記念

理容 ハラダ

篠町森下宮ノ谷6-47

TEL (4) 3056

輸入洋酒・贈答品・ワイン
酒・ビール・外国タバコ

亀岡市篠町柏原町頭45 TEL.2-0746

石野 酒店

定休日 毎月曜日



純打認

〒621 亀岡市追分町八の坪13の1

でんわ 5-0228・3-1950

美津濃・ゼット・SSK・パウ 特約店

山内スポーツ

亀岡市クニッテル通り西友西
TEL (07712) 2-0901
工場 亀岡市西町22
TEL (07712) 4-1271

家庭的な雰囲気
低料金の店です。

スナック ハピネス

亀岡市内丸町22-1(永田ビル)
TEL(07712)4-5169



求人・求職は
さわやか職安へ!

お気軽にお電話を

船井郡園部町宮町
京都西陣公共職業安定所
園部出張所

総合建設業



株式会社 石村組

代表取締役 石村 義信

本社 京都府亀岡市篠町広道19-1
電話 (07712) 2-1232
FAX (07712) 5-3345

四季の味覚でおもてなし
とうろう飯石・がんりゅう鍋・ぼたん鍋・松茸料理



本店 亀岡市篠田野町佐伯大日堂32
TEL (07712) 2-0635 ㊦
安町店 亀岡市安町野々神
TEL (07712) 4-6000 ㊦

宝 石・時 計・メ ガ ネ



亀岡市追分町クニッテル通り西友横
宝 石・時 計 ☎ (07712) 3-8658
メ ガ ネ ☎ (07712) 4-3545

BEAR'S CAFE
YOSHIKAWA

テニスコート前
(07712) 3-5088

Asahi

さらりとした飲み口。アルコール度ちよつと高め。キレ味がでえる。いわば半口ビールです。
スーパードライ

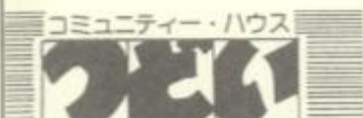
和洋酒・食料品

元 緑 屋

本店 亀岡・曾我部町寺 TEL2-1263
田道店 亀岡・曾我部町南条 TEL5-3700

・パーティー・コンパ
 ・クリスマス会、忘念会に

貸しスタジオ (貸し会場)



亀岡市中矢田町オノノ1の41 TEL 3-9789



野球・テニス用品
 その他オールスポーツ用品



有限会社

オガワスポーツ

〒621 亀岡市新町19番地

TEL(07712)3-2551

京の田舎 民芸の宿 湯の花温泉

亀峰庵

〒621 京都府亀岡市湯の花温泉
 TEL.07712-2-0394 TEL・FAX07712-2-4120

喫茶とお食事の店

art

亀岡市旅籠町26-3
 TEL 4-3067

bico
Gocotte

亀岡一番街・TEL (07712) 3-1688

一本の原木から街づくりまで

山田木杵

江戸前にぎり・活魚料理



寿し富

国道頼政塚バス停南150m

電話(07712)2-0436

料理 仕出し 宴会

よろづや

亀岡市駅前

電話2)0324

有限会社 西部運送

ひっこしセンター亀岡

橋本清司

亀岡 07712(3)-2019

京都 075(312)-2019